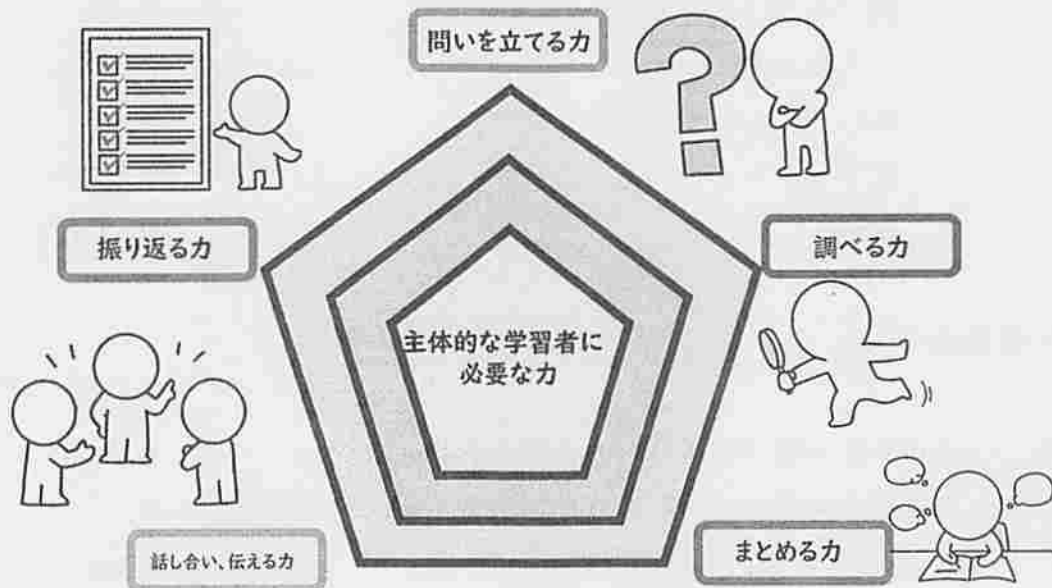


主体的な学習者の育成

～アクティブ・ラーナーを育てる段階的な学びの在り方～



白井市立七次台中学校

柴田 直樹 山本 裕介

江崎 陽乃香 宿城 高義

目次

～本編～

1 研究主題	…P. 1
2 主題設定の理由	…P. 1～3
3 研究内容	…P. 4～10
(1) 研究仮説	…P. 4
(2) 手だてと実践	
問いを立てる力について	…P. 4～5
調べる力について	…P. 6
まとめる力について	…P. 7
話し合い、伝える力について	…P. 8
振り返る力について	…P. 9
(3) 検証	…P. 10

～資料編～

・「令和の日本型学校教育」の構築を目指して	…P. 1
・「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム	…P. 1
・問いを立てる力に関する資料	…P. 2～6
・調べる力に関する資料	…P. 7～8
・まとめる力に関する資料	…P. 8～11
・話し合い、伝える力に関する資料	…P. 12～14
・振り返る力に関する資料	…P. 14～18
・「個別最適」、「協働的」な学びに関する資料	…P. 18～19
・検証 授業アンケート	…P. 20
・参考文献	…P. 21
・スライド資料	…①～⑯

本研究発表に至るまで、多くの先生方にお力添え、ご指導、ご助言をいただきました。この紙面を借りて御礼申し上げます。ご指導いただいたことをもとにさらに研究を推進していく所存です。今後ともよろしくお願いいたします。

白井市立七次台中学校社会科研究部一同

1 研究主題

主体的な学習者の育成

～アクティブ・ラーナーを育てる段階的な学びの在り方～

2 主題設定の理由

(1) 文部科学省中央審議会答申および学習指導要領から

社会の在り方が劇的に変わる「Society 5.0時代」の到来や新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難」な時代の中で一人一人の生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重することや多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められている。そのためには、生徒の実態に応じ、知・徳・体を一体的に育む従来の日本型教育の良さを生かしながら、「個別最適な学び」、「協働的な学び」をより一層充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図り、「令和の日本型学校教育」を実現することが重要である（資料1）。

そこで本研究では、よりきめ細やかで効果的な指導方法、教材の提供や一人一人の生徒の興味・関心に応じた学習活動、学習課題に取り組む機会を提供することで「個別最適な学び」に迫るとともにそれが「孤立した学び」に陥らないよう探究的な学習等を通して他者と対話しながら、よりよい学びを生み出す「協働的な学び」の実現をめざす。

(2) 印教研社会科研究部の研究主題より

よりよい社会の実現に寄与する「生きる力」を培う社会科学習

～自ら課題をみだし、自らの考えを表現できる児童生徒の育成～

印教研社会科研究部では、時代の変化に即して調べ方、まとめ方、発表の仕方など指導方法の工夫や「思考し、表現する力を高める実践プログラム」（資料2）を活用した提案等、さまざまな視点から生徒の興味、関心を高め、「生きる力」を培う実践を共有してきた。これまでの実践の成果と課題をふまえながら、新学習指導要領や学習環境の変化に応じて、さらに「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図ることが求められる。特に、「GIGA スクール構想」の中で生徒の学習環境が変わり、1人1台のタブレット（ICT）を活用することが当たり前になった。しかしながら、その大きな時代の流れの中にあっても、「社会の課題を見出し、解決方法を考える」という社会科の根幹は変わらない。そこで本研究では、「自ら社会の課題をみいだす」力を身につけさせるとともに、今まで以上にさまざまな情報に触れ、情報の発信者ともなり得る生徒に、目的に応じてタブレットを適切に活用しながら、「自らの考えを表現」することでよりよい社会の実現に寄与する生徒（アクティブ・ラーナー【P.3】）の育成に迫りたい。

(3) 本校の実態と生徒の実態から

本校では、新学習指導要領の実施に合わせて「主体性を高める教育の在り方」をテーマに「全員が参加できる工夫」や「やってみたい、最後までやり遂げたいと思える工夫」、「一人一人が脳に汗をかく工夫」としてどんなことができるかを検討し、学校をあげて取り組んできた。その中で、生徒による授業アンケートでは、「授業の総合的な満足度」の項目には96%（大変よくあてはまる、よくあてはまる）が肯定的な回答をしている。一方で、「自ら課題（問い）や目標を立てる」や「課題について調べる」、「話し合いを通して考えを深める」、「自分の考えを書く」、「学習を振り返り、改善につなげる」という項目については、力が伸びたと感じている生徒は昨年度の段階で60%～70%（大変よくあてはまる、よくあてはまる）に留まっており、授業改善が必要である。これらは一斉指導だけでは身につかない部分である。これからより一層「個別最適な学び」や「協働的な学び」を通してよりきめ細やかな支援を行うことが求められる。

・「問いを立てる力」について

生徒が自ら課題を見つけ、問いを立てることは理想ではある。しかし、こちらのねらいに反して自由に問いを立てさせると些末な事象や枝葉の部分を開くようなもの立てられる場合が多く見られる。例えば、歴史的分野では、「縄文土器とは何か」という一問一答できるような問いを立てる生徒がおり、これでは学習が深まっていけない。



歴史的な事象の結びつきをより深く理解し、時代を大視するには、「なぜ、縄文土器はつくられるようになったのか」、「縄文土器と弥生土器にはどのような違いがあるのか」等、社会的な見方・考え方を生かした問いを立てられる力を身につけていく必要がある。

・「調べる力」や「まとめる力」について

小学校での積み重ねもあり、歴史上の人物についてまとめることには慣れている。しかしながら、まとめた内容を見てみるとインターネット上にあるウェブサイトの丸写しであったり、テーマに沿った情報収集がうまくできていなかったりする生徒が多い。



映像やスライド等の分かりやすい資料提示に慣れており、教科書や図書資料等から時間をかけて読み取り、考察する経験が少ないと考えられる。課題を解決するためにどんな資料が必要かの見通しをもった上で、教科書や図書資料等から必要な情報を取捨選択したり、資料を適切に読み取ったりする活動を積み重ねることが求められる。また、インターネット上の情報には誤った情報もあることを自覚させ、複数の視点から吟味して活用する必要がある。

・「話し合い、伝える力」について

ペアや小グループで共有することは難なくできるが、ノート等に調べた内容をそのまま読み上げる生徒が多い。



話し合いを通して、「考えを広げたり、深めたりする」という目的を意識した活動となっていないと考えられる。話し合いの目的を明確にした上で、聞き手に根拠を示してわかりやすく伝えられるように工夫するとともに、質問等のやりとりを通して学習が深まるように支援していく必要がある。

・「振り返る力」について

文章での振り返りについては、学習活動を振り返らせると「次はもっと頑張る」というような抽象的な言葉が並ぶことが多くある。また、項目ごとにA～Cで自己評価する振り返りについては、適切に評価できておらず、実態と合わないA評価やC評価が見られることがある。



次に生かすという意識を持たせられておらず、反省点ばかりに焦点があたる振り返りになっていると考えられる。見出す、自分で取り組む、広げ深める、まとめあげるという学習過程の中で必要な力を明確にし、知識・技能を見取る小テスト、思考・判断・表現力を見取るパフォーマンス課題等を効果的に活用し、多様な視点で振り返ることを通してできた部分を積極的に認めることやより具体的な改善点に生徒が気づけるよう支援していく必要がある。

・本校のICT環境と社会科での活用状況について

項目	内容	状況
主なICT	タブレット端末 (富士通 ARROWS Tab)	1人1台使用可能、持ち帰りも許可している。教員は多くの授業で活用している。生徒も文房具の1つとして調べ学習等に日常的に使っている。
	電子黒板型スクリーン	各教室に配備、常時使用している。
主なアプリケーション	ミライシード (Benesse)	ドリルパークの問題を解かせ、学習履歴(スタディ・ログ)を活用している。オクリンク、ムーブノートを活用し、意見共有等の協働的な学習やプレゼンテーション作成に行っている(≒コラボノート)
	Forms (Microsoft)	意見の集約、小テスト、授業アンケート等に活用している(≒Google Forms)
	Teams (Microsoft)	教材配付やリモート授業に利用している。(≒Google Meet)
	SKYMENU (Sky)	教材配付やポジショニング機能を利用している。

※他にも、Office365、メンチメーカー、ジャムボード等を活用することもある。

(4) 主体的な学習者(アクティブ・ラーナー)について

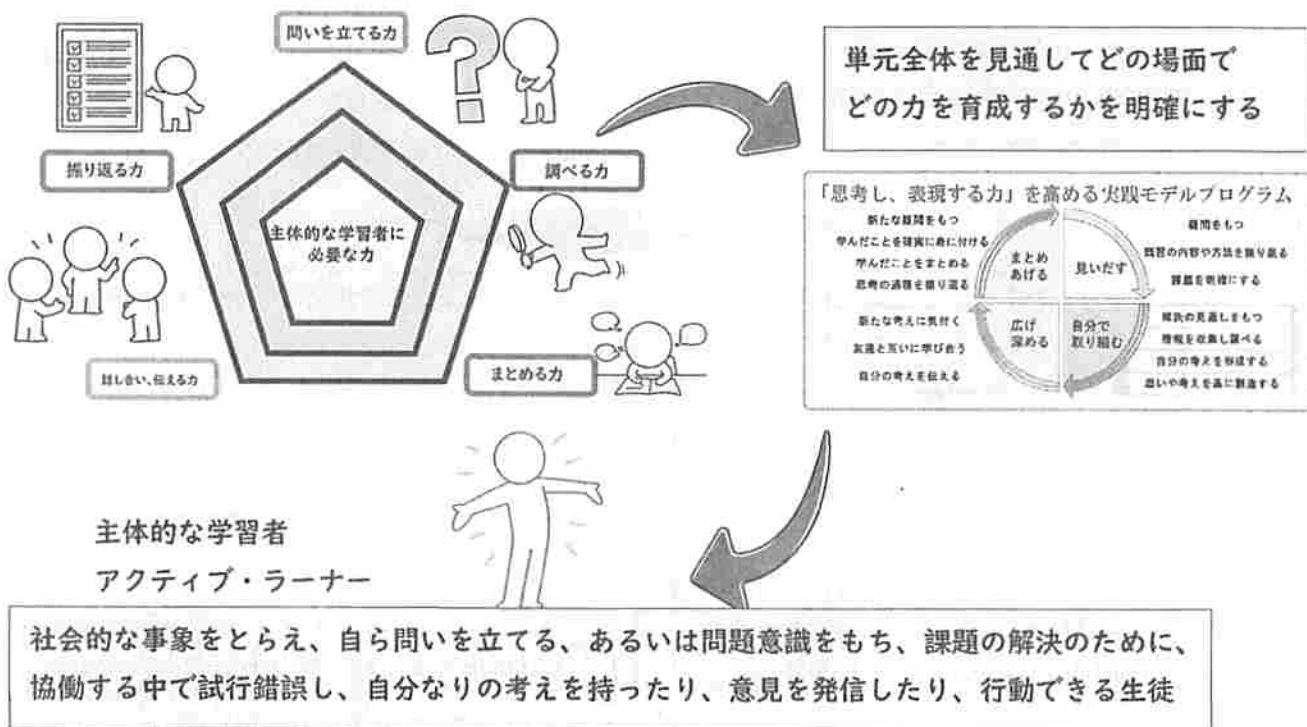
本研究のめざす主体的な学習とは、「生徒が社会的な事象をとらえ、自ら問いを立てる、あるいは問題意識をもち、課題の解決のために、協働する中で試行錯誤し、自分なりの考えを持ったり、意見を発信したり、行動する」ことである。これらの力を身につけた学習者のことをアクティブ・ラーナーと呼ぶ。

3 研究内容

(1) 研究仮説

主体的な学習を「問いを立てる力」、「調べる力」、「まとめる力」、「話し合い、伝える力」、「振り返る力」の5つの要素に分け、年間を通して様々な社会問題や課題について考え、解決する場面で段階的に指導することで、よりよい社会の実現に寄与する主体的な学習者を育成することができるであろう。

図表1 研究の全体像（主体的な学習者に必要な5つの力と単元デザインの関係）

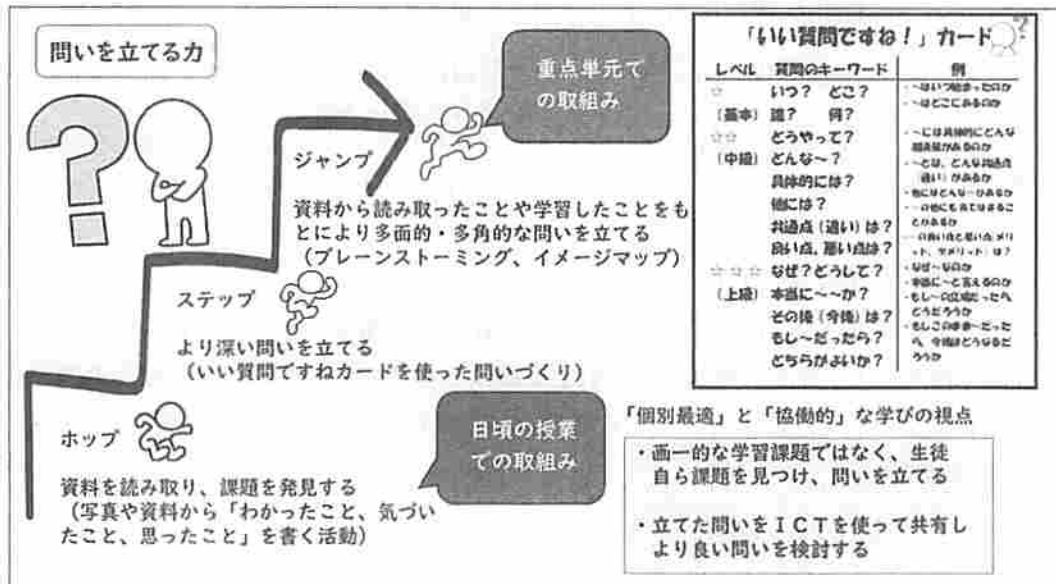


(2) 手だてと実践

～問いを立てる力について～

手だて 問いを立てる力を高めるために以下の3つの取組み（図表2）を段階的に行った。

図表2



実践1 中1「南アメリカ州」開発の進行と影響（東京書籍「新しい社会地理」P.118～119）

①アマゾン熱帯林の破壊の写真を見せ、課題を見出す

②「いい質問ですねカード」を活用して問いを立てる

③ICTで共有し、KJ法で問いを検討後、調べ学習をする





生徒が自ら立てた問い

- なぜ、アマゾンの熱帯林は減ったのか
- このまま伐採が続いたらどうなるか
- いつごろから減っているのか
- 解決策にはどんなことがあるか

変化、差異等の社会的見方・考え方に着目して課題を立てられる資料や「おや！？」「何か変だ！？」と思うような資料を提示するとよい

いい質問ですねカードを使うことで多くの生徒が学習が深まる問いを立てた






※生徒のまとめたノートの拡大版は資料編

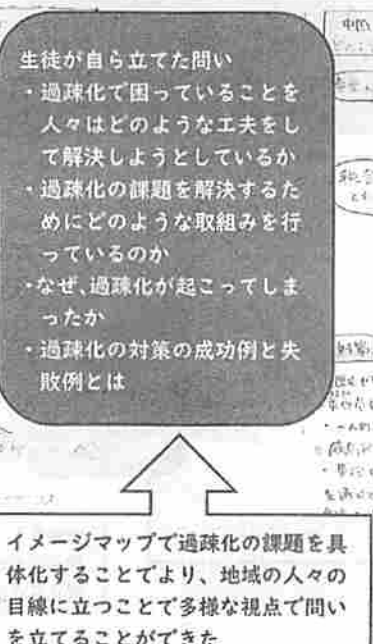
実践2 中2「中国・四国地方」活用される交通・通信網（東京書籍「新しい社会地理」P.204-205）

①過疎化に関する資料から課題を見出す

②イメージマップを活用し、課題を多面的・多角的にとらえた上で問いを立てる

③KJ法で問いを検討後、調べ学習をする





生徒が自ら立てた問い

- 過疎化で困っていることを人々はどのような工夫をして解決しようとしているか
- 過疎化の課題を解決するためにどのような取組みを行っているのか
- なぜ、過疎化が起きてしまったか
- 過疎化の対策の成功例と失敗例とは

イメージマップで過疎化の課題を具体化することでより、地域の人々の目線に立つことで多様な視点で問いを立てることができた

ポイント 問いの共有はICT、集約は「付箋を使ったKJ法」よりも「人間KJ法」が早い

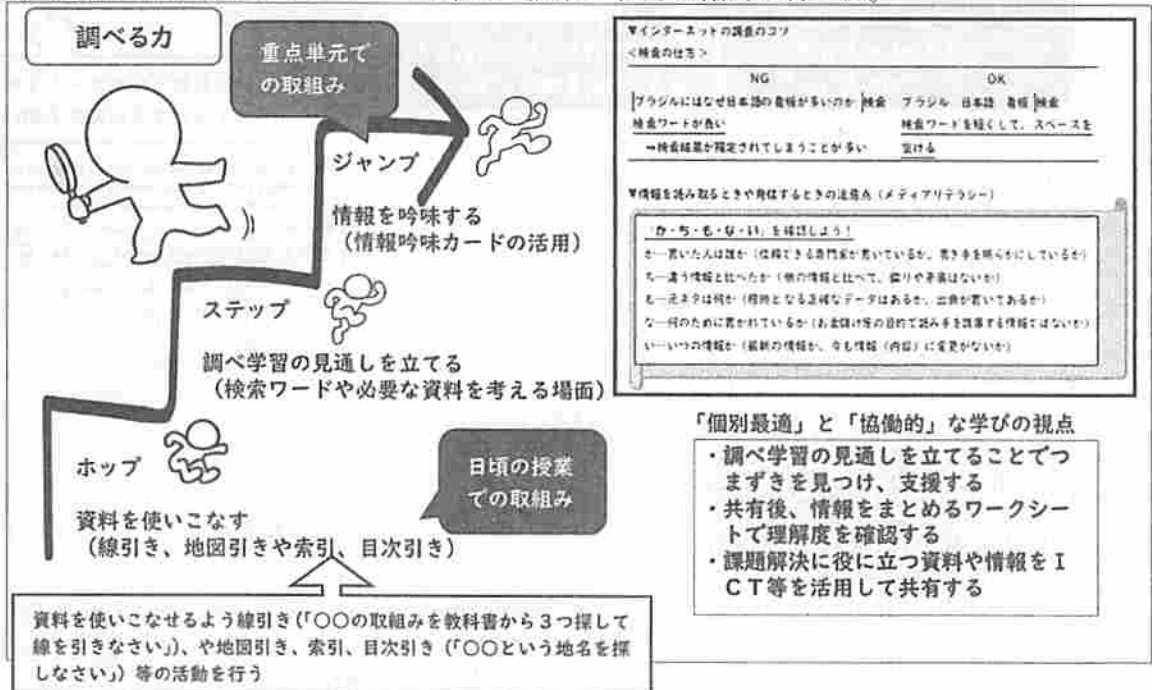
- ・問いが立てられた生徒からミライシードで共有⇒調べる見通しを立てる活動へ進む
- ・「似た問いを立てた仲間と集まりましょう」(3分) ⇒グループごとに発表、全体共有する

～調べる力について～

手だて

調べる力を高めるために以下の3つの取組み(図表3)を段階的に行った。

図表3



実践3 中1「武士の政権の成立」院政から武士の政権へ(東京書籍「新しい社会歴史」P.66~67)

- ①政治の中心が貴族から武士へと変化したことに気づかせ、権力を握るために必要なことは何かを予想し、ノートに書く
- ②「武士(平清盛)はどのように権力を握ったのか」を調べるためにどんなことがわかればよいか調査の見通しを立てる
- ③「情報吟味カード」を活用しながら、複数の情報源や仲間と比べ、自分の情報が適切なものかを確認したり、修正したりする

生徒の予想

- ・軍力が強かった・政治が上手だった・経済力があつた・人気があつた

生徒の挙げた調査のキーワード

- ・平清盛 やつたこと 政治 保元の乱、平治の乱 結果
- ・院政 仕組み 太政大臣 日宋貿易 利益 収入

院政を強固に日本貿易を限る。平清盛は、日宋貿易を促進し、富強経済を築く。その結果、院政の権力が弱まり、平清盛の権力が強まる。

院政 日宋貿易 平清盛の権力が強まる。

平清盛の権力が強まる。院政の権力が弱まる。

平清盛の権力が強まる。院政の権力が弱まる。平清盛の権力が強まる。

経済力に着目した生徒の調査メモ

複数の資料や仲間との情報と比べて確認している



情報をまとめるワークシート

調べた内容をもとにどれくらい理解できたかをノートやメモを見ながら書きこみ、足りない部分や疑問に思ったことをさらに調べる

ポイント 調べ学習の軌道修正は、「問いかけ」で行うのが良い

- ・「軍事力だけで権力を握れたか」、「貴族の力は強いままだったのか」、「これまでの棋閣政治との違いは何か」等、社会的な見方・考え方をふまえ、多面的・多角的に調べられるよう助言する
- ・事前に検索の上位のウェブサイトは目を通しておき、「この資料はどうか」と不足部分を補える図書資料を準備する
- ・丸写ししている生徒には、「これはどういう意味か」と説明が難しい言葉を質問する



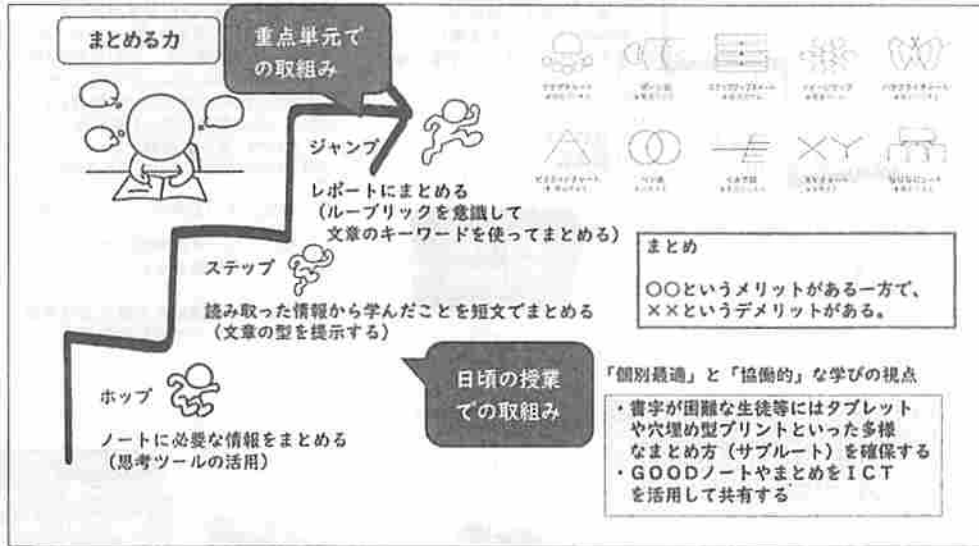
図書室とも連携し、多様な資料をそろえておく

～まとめる力について～

手だて

まとめる力を高めるために以下の3つの取組み（図表4）を段階的に行った。

図表 4



実践4 中1「世界各地の人々の生活と環境」氷と雪の中で暮らす人々（東京書籍「新しい社会地理」P.36～37）

- ①雨温図や気候の分布と写真からわかったこと、気づいたこと、思ったことを確認する
- ②思考ツールを選び、ノート等にまとめる
- ③GOODノートを共有した上で、環境と生活の関わりを全体で考察し、まとめを書く

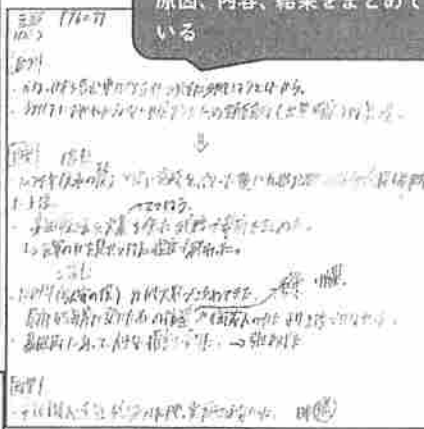
×チャートを活用し、衣・食・住・その他の4つの側面からまとめている



実践5 中1「モンゴルの襲来」（東京書籍「新しい社会歴史」P.76-77）

- ①元寇の原因、出来事、結果についてノート等にまとめ、小グループで共有する
- ②「元は撤退したにも関わらず、なぜ鎌倉幕府は滅びたのか」について全体で考察した上で確認問題を解く
- ③ルーブリックを意識し、元寇について「フビライ・ハン」、「文永の役」等のキーワードを使って100字程度でまとめる

ステップチャートを使って原因、内容、結果をまとめている



ルーブリックやキーワードを示すことでつながりを考え、自分の言葉でまとめようとする

元寇の原因「元寇」についてまとめたA3のキーワード：フビライ・ハン 天竺の僧 義経

原因	1. 元寇の原因は、1271年にモンゴルが日本に侵襲したことに起因している。2. 1274年に、元寇の第一回襲撃が行われた。3. 1281年に、元寇の第二回襲撃が行われた。4. 1289年に、元寇の第三回襲撃が行われた。	内容	1. 1274年に、元寇の第一回襲撃が行われた。2. 1281年に、元寇の第二回襲撃が行われた。3. 1289年に、元寇の第三回襲撃が行われた。	結果	1. 1274年に、元寇の第一回襲撃が行われた。2. 1281年に、元寇の第二回襲撃が行われた。3. 1289年に、元寇の第三回襲撃が行われた。
まとめ	元寇の原因は、1271年にモンゴルが日本に侵襲したことに起因している。1274年に、元寇の第一回襲撃が行われた。1281年に、元寇の第二回襲撃が行われた。1289年に、元寇の第三回襲撃が行われた。				
良問	1. 1274年に、元寇の第一回襲撃が行われた。2. 1281年に、元寇の第二回襲撃が行われた。3. 1289年に、元寇の第三回襲撃が行われた。				
GOOD (A)	1. 1274年に、元寇の第一回襲撃が行われた。2. 1281年に、元寇の第二回襲撃が行われた。3. 1289年に、元寇の第三回襲撃が行われた。				
BAD (B)	1. 1274年に、元寇の第一回襲撃が行われた。2. 1281年に、元寇の第二回襲撃が行われた。3. 1289年に、元寇の第三回襲撃が行われた。				
NEXT (C)	1. 1274年に、元寇の第一回襲撃が行われた。2. 1281年に、元寇の第二回襲撃が行われた。3. 1289年に、元寇の第三回襲撃が行われた。				

ポイント 時間差が出たときにどんなことができるか示しておく

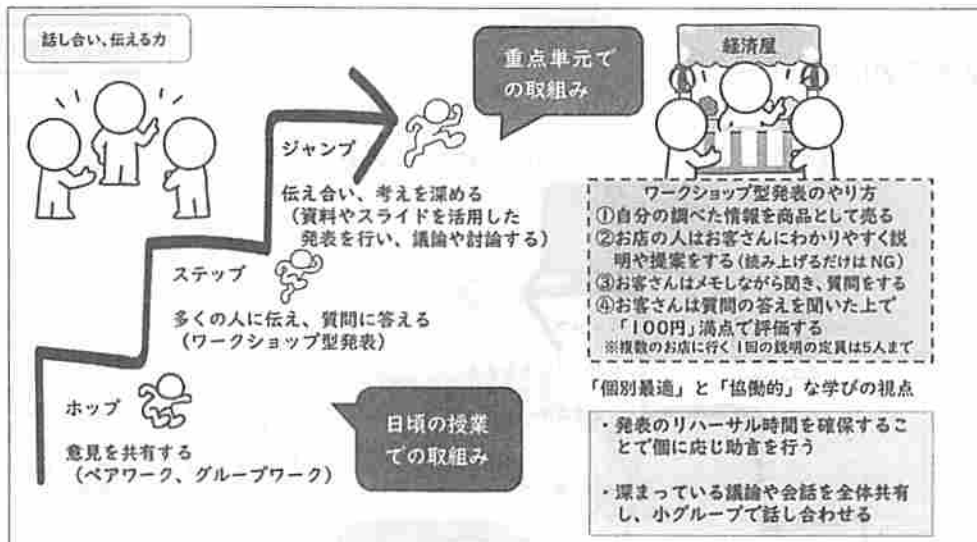
- ・教え合い・探究(発展)課題・終わった生徒同士での共有、修正・ドリルパーク(知識の確認)

～話し合い、伝える力について～

手だて

話し合い、伝える力を高めるために以下の3つの取組み(図表5)を段階的に行った。

図表5



実践6 中1「オセアニア州」人々の他地域とのつながり(東京書籍「新しい社会地理」P.132~133)

- ①オーストラリアの「多文化社会」について問いを立て、調査する
- ②それぞれが調べたことをワークショップ型発表し、考えを深める
- ③「日本は多文化社会を実現すべきか、実現するためにどんな取組みが必要か」話し合う



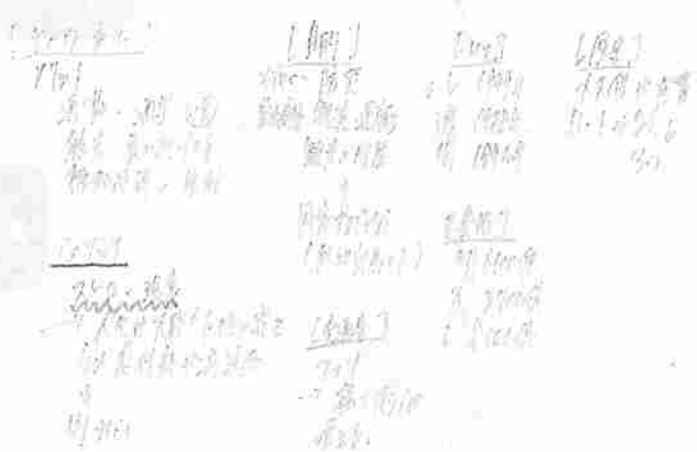
ワークショップ型発表の様子

日本での外国人の受け入れの事例について調べ、説明している様々なお客さんに何度も説明することで説明が上手になっていく質問をもらいやりとりすることで理解が深まっていく

実践7 中2「中国・四国地方」交通網の整備と人や物の移動の変化(東京書籍「新しい社会地理」P.200-201)

- ①瀬戸大橋の開通により、通勤・通学者数の変化の資料から問いを立て、調査する
- ②調査したことをチームごとに代表者がプレゼンテーション(授業)する
- ③「橋(交通網)の発展は地域を豊かにしたか」話し合い、まとめを書く

発表を聞いた生徒のメモと話し合い後のまとめ



ポイント 伝わりやすい工夫を考えさせる

- ・キーワード等の板書やスライドの活用
- ・動画や資料提示・具体例
- ・声の大きさ、速さ等

瀬戸大橋の開通により、瀬戸大橋の開通により、通勤・通学者数の変化の資料から問いを立て、調査する。調査したことをチームごとに代表者がプレゼンテーション(授業)する。話し合い、まとめを書く。

(3) 検証

・生徒の授業アンケートの変容より

生徒の授業アンケートの各項目の肯定的な回答が向上したことから一定の成果が得られたと考える（資料編 検証「授業アンケート」に詳細）。

授業アンケート	昨年度 7 月	今年度 7 月
問いを立てる力	61%	94%
調べる力	76%	89%
まとめる力	62%	85%
話し合い、伝える力	74%	92%
振り返る力	56%	87%

・生徒の成果物等より

以下の生徒の記述や様子等より、主体的な学習者としての姿を見て取れると考える。

実践1 「解決策も調べてみた」（資料編「アマゾンの熱帯林」生徒のノート②を参照）という記述にあるように、自ら問いを立てて調べていく中で新たに生まれた疑問を調べる生徒が現れた。

実践2 イメージマップ（資料編「過疎化」生徒のノート①～③参照）で課題を具体的に考えることで、地元の人にフィットする過疎化の対策や工夫を考える生徒が現れた。

実践3～5 調査の見通しやまとめ方がわからずに主体性が持続しないことがあったが、やり方を示すことで最後まで試行錯誤したり、粘り強く取り組んだりする生徒が現れた。

実践6～7 自ら説明する活動を通して、理解が不十分だったことに気づき、さらに調べる姿が多く見られた。

実践8 パフォーマンス課題後の振り返り（リフレクション）から「次は根拠をいろいろな資料から考えられるようにしたい」（資料編の「生徒の振り返りより」を参照）等、今後の学習を具体的にどう改善するのか考えられる生徒の姿が見られた。

・成果と課題

主体的な学習者に必要な力	主な手だて	成果	課題
問いを立てる力	いい質問ですねカード イメージマップ	比較的に簡単に生徒の問いの質が向上した	例以外の問いをつくる力が伸びたかはわからない
調べる力	調査の見通しを立てる 情報吟味カード	見通しを立てる中で生徒の調査する力が見え、助言をすることができた	ChatGPT等の新たなツールへの対応が求められる
まとめる力	思考ツール 文章の型 ループリックの提示	ループリックを意識することで生徒が多様な視点で物事を見れるようになった	文章の型やループリックの提示するタイミングはよく考える必要がある
話し合い、伝える力	ワークショップ型発表 プレゼンテーション型（授業型）発表	くり返し発表することで工夫した発表が見られるようになった	プレゼン型発表は全員ができず、代表生徒の発表が中心になる
振り返る力	パフォーマンス課題 リフレクションシート スタディ・ログ	ペーパーテスト以外の様々な学習の様子を評価することができる	評価を返す（フィードバック）までにタイムラグが生じる

・今後に向けて

次年度は、歴史の近現代史や公民的分野に入る。これまで培った力を生かして実社会の諸課題を生徒自身の力で解決できるよう支援していきたい。

資料編

・資料1

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～答申（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/content/20210428-mxt_kyoiku01-00014639_10.pdf

3. 2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

① 個別最適な学び（「個に応じた指導」（指導の個別化と学習の個性化）を学習者の視点から整理した概念）

- ◆ 新学習指導要領では、「個に応じた指導」を一層重視し、指導方法や指導体制の工夫改善により、「個に応じた指導」の充実を図るとともに、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整えることが示されており、これらを適切に活用した学習活動の充実を図ることが必要
- ◆ GIGAスクール構想の実現による新たなICT環境の活用、少人数によるきめ細かな指導体制の整備を進め、「個に応じた指導」を充実していくことが重要
- ◆ その際、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、学びの動機付けや幅広い資質・能力の育成に向けた効果的な取組を展開し、個々の家庭の経済事情等に左右されることなく、子供たちに必要な力を育む

指導の個別化

- 基礎的・基本的な知識・技能等を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等や、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等を育成するため、
・支援が必要な子供により重点的な指導を行うことなど効果的な指導を実現
・特性や学習進度等に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定を行う

学習の個性化

- 基礎的・基本的な知識・技能等や情報活用能力等の学習の基礎となる資質・能力等を土台として、子供の興味・関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子供自身が学習が最適となるよう調整する

- ◆ 「個別最適な学び」が進められるよう、これまで以上に子供の成長やつまづき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することや、子供が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるよう促していくことが求められる
- ◆ その際、ICTの活用により、学習履歴（スタディ・ログ）や生徒指導上のデータ、健康診断情報等を利活用することや、教師の負担を軽減することが重要

それぞれの学びを一体的に充実し
「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる

② 協働的な学び

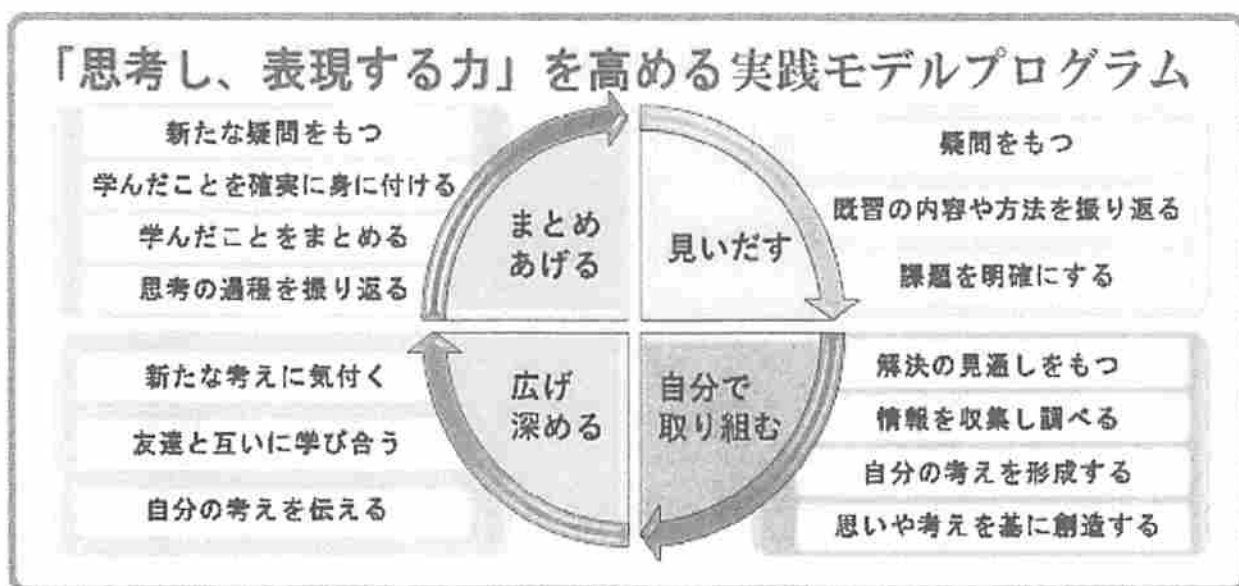
「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないよう、探究的な学習や体験活動等を通じ、子供同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となることができるよう、必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」を充実することも重要

集団の中で個が埋没してしまうことのないよう、一人一人のよい点や可能性を生かすことで、異なる考え方が組み合わさり、よりよい学びを生み出す

- 知・徳・体を一体的に育むためには、教師と子供、子供同士の関わり合い、自分の感覚や行為を通して理解する実習・実験、地域社会での体験活動など、様々な場面でリアルな体験を通じて学ぶことの重要性が、AI技術が高度に発達するSociety5.0時代にこそ一層高まる
- 同一学年・学級はもとより、異学年間の学びや、ICTの活用による空間的・時間的制約を超えた他の学校の子供等との学び合いも大切

・資料2 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム（改訂版）※令和4年度～

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/gakuryoku/zissenmoderu/documents/zissenmodel2022-all.pdf>



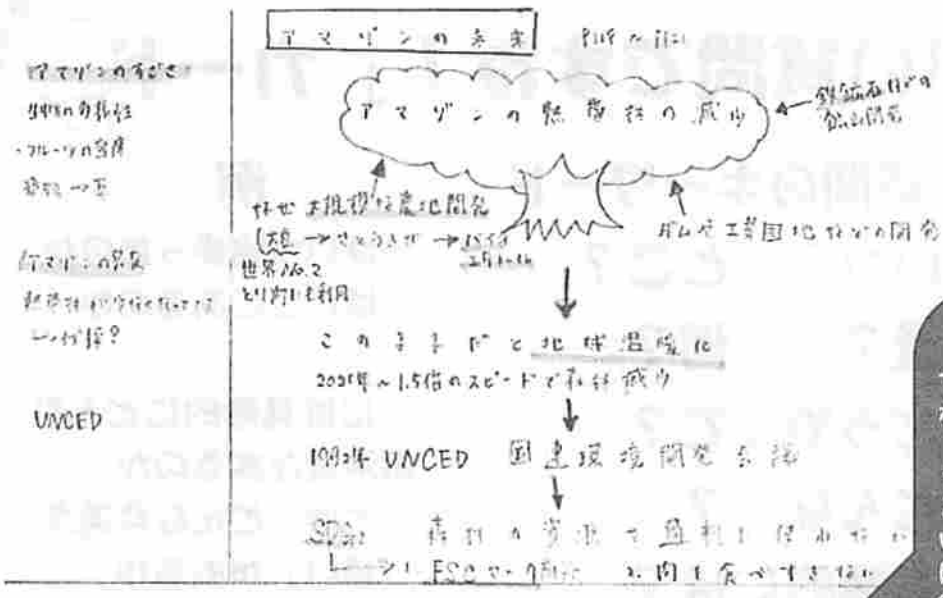
「いい質問ですね！」カード

レベル	質問のキーワード	例
☆ (基本)	いつ? どこ? 誰? 何?	<ul style="list-style-type: none"> ・ ~はいつ始まったのか ・ ~はどこにあるのか
☆☆ (中級)	どうやって? どんな~? 具体的には? 他には? 共通点(違い)は? 良い点、悪い点は?	<ul style="list-style-type: none"> ・ ~には具体的にどんな解決策があるのか ・ ~とは、どんな共通点(違い)があるか ・ 他にはどんな~があるか ・ ~の他にも当てはまることがあるか ・ ~の良い点と悪い点(メリット、デメリット)は?
☆☆☆ (上級)	なぜ? どうして? 本当に~~か? その後(今後)は? もし~だったら? どちらがよいか?	<ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ~なのか ・ 本当に~と言えるのか ・ もし~の立場だったら、どうだろうか ・ もしこのまま~だったら、今後はどうなるだろうか

・作成にあたって
 アクティブ・ラーニングの多くの実践では、学習課題は教員側から提示する。しかし、それでは自ら課題を見出し、問いを立てる力が育っていかないと考えた。だが、自由に問いを立てさせ、調べ学習をすると一問一答や豆知識の方向に学習が流れてしまうことがあった。そこで、学習が深まる問いの例を示すことで生徒が自ら深い学びにつながる問いを立てられると考えた。作成にあたっては、社会的な見方・考え方を働かせる問いを意識して基本から上級までの問いの例を作成した。

・活用してみよう
 問いを立てるのが難しい生徒もいい質問ですねカードの例に当てはめる形で問いを立てることができた。また、くり返し使っていくことで徐々にカードを見なくても自ら深まる問いを立てることができるようになった。

生徒のノート①



本単元の問題は、「なぜ、アマゾンの熱帯林が減少したのか」が一般的であろう。いい質問ですねカードを使うことで、「もし伐採が続くとどうなるか」という未来について考察する問いや「解決策はあるのか」という問いを生徒自らが立てることができ、学習をより多面的・多角的に進めることができた。

もし、伐採が続くとどうなるのだろうか。

環境破壊
木を切り倒す → 元の姿
× 過度な伐採は環境破壊につながる

災害拡大要因
樹木や地中の水をコントロール
→ 大型台風などの災害発生
→ 土砂くずれ、土砂災害、崖崩れ、山崩れ、倒木

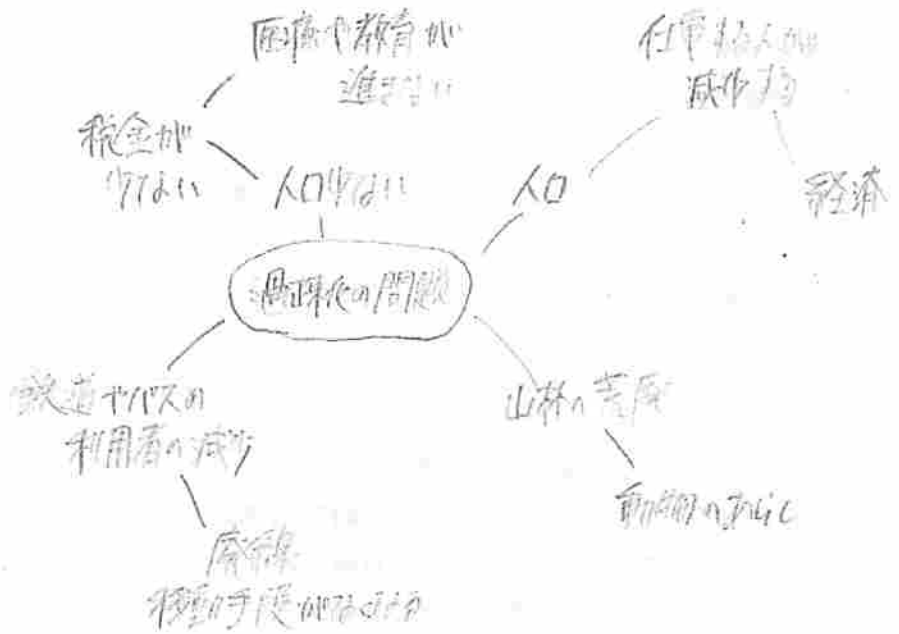
熱帯林の過度な伐採が続くと元の姿を取り戻すのに時間がかかる。また、災害の拡大、土壌の栄養分の流出による生態系の破壊、地球温暖化に拍車がかかること等をまとめている。

土壌栄養分の流出
- 台風による倒木や伐採 → 土壌栄養分
- 土壌栄養分は、樹木や地中の水をコントロールする役割がある。
- 土壌栄養分は、樹木や地中の水をコントロールする役割がある。
- 土壌栄養分は、樹木や地中の水をコントロールする役割がある。

地球温暖化と森林
- 樹木は二酸化炭素を吸収し、酸素と糖質を作り出す。
- 温暖化の主な原因は二酸化炭素の増加。
- 森林は二酸化炭素を吸収し、酸素と糖質を作り出す。
- 温暖化は進行。さらに深刻な状態になる。

過疎化の対策として業はあつたが、インターネット通信を利用したままの対策はあつたが、これは過疎化は、自然の力によるもの、X%の人があつた。

過疎化にたいして、どんな対策がとられているのか。



- 地方にたいして**
- ・高度経済成長
 - ・都市に人口集中
 - ・少子高齢化
- 人口を維持するために**
- ・定住型産業
 - ・観光型産業
 - ・在宅型産業
- 過疎地の対策**
- ・自然観光
 - ・地域活性化

- 一人ひとりの生活
- (再生可能な資源の活用がポイント)
- ・耕作放棄の再圧
 - ・大規模耕作、共同生活の稼働、農業機械の共同利用
 - ・共同生活の再圧
- ・村おこし、町おこし
- ・在宅型産業、利用者の増加
- (新しい商品、成功の秘訣は)

・調べる力に関する資料

情報吟味カード

▼インターネットの調査のコツ

<検索の仕方>

NG	OK
ブラジルにはなぜ日本語の看板が多いのか <input type="button" value="検索"/> 検索ワードが長い ⇒検索結果が限定されてしまうことが多い	ブラジル 日本語 看板 <input type="button" value="検索"/> 検索ワードを短くして、スペースを 空ける

▼情報を読み取るときや発信するときの注意点（メディアリテラシー）

「か・ち・も・な・い」を確認しよう！

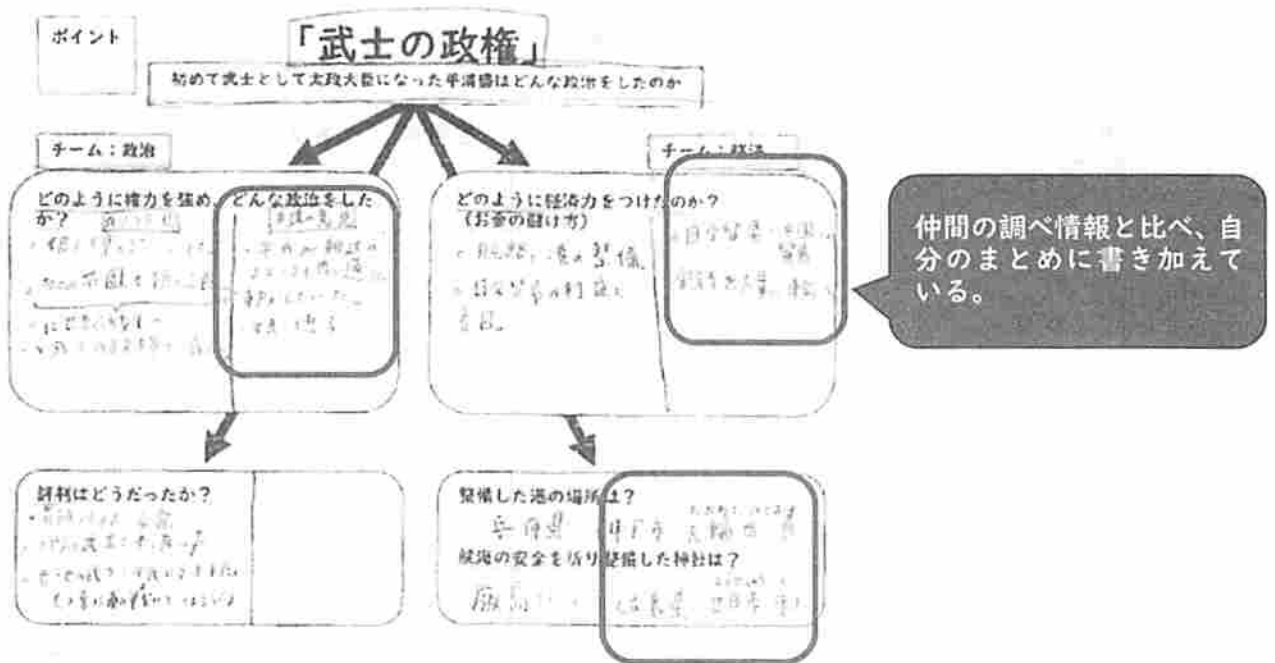
か…書いた人は誰か（信頼できる専門家が書いているか、書き手を明らかにしているか）
 ち…違う情報と比べたか（他の情報と比べて、偏りや矛盾はないか）
 も…元ネタは何か（根拠となる正確なデータはあるか、出典が書いてあるか）
 な…何のために書かれているか（お金儲け等の目的で読み手を誘導する情報ではないか）
 い…いつの情報か（最新の情報か、今も情報（内容）に変更がないか）

・作成にあたって
 1人1台のタブレットを活用した学習をすることが増え、インターネットを活用した調べ学習の機会が増えた。誤った情報や偏った情報をそのままノートにまとめる生徒も少なくない。情報の受け取り手、発信者となる生徒に情報を扱う際の注意点として提示した。

・活用してみても
 インターネットの情報と教科書や図書資料、仲間の調べた情報と比べる生徒が増えた。

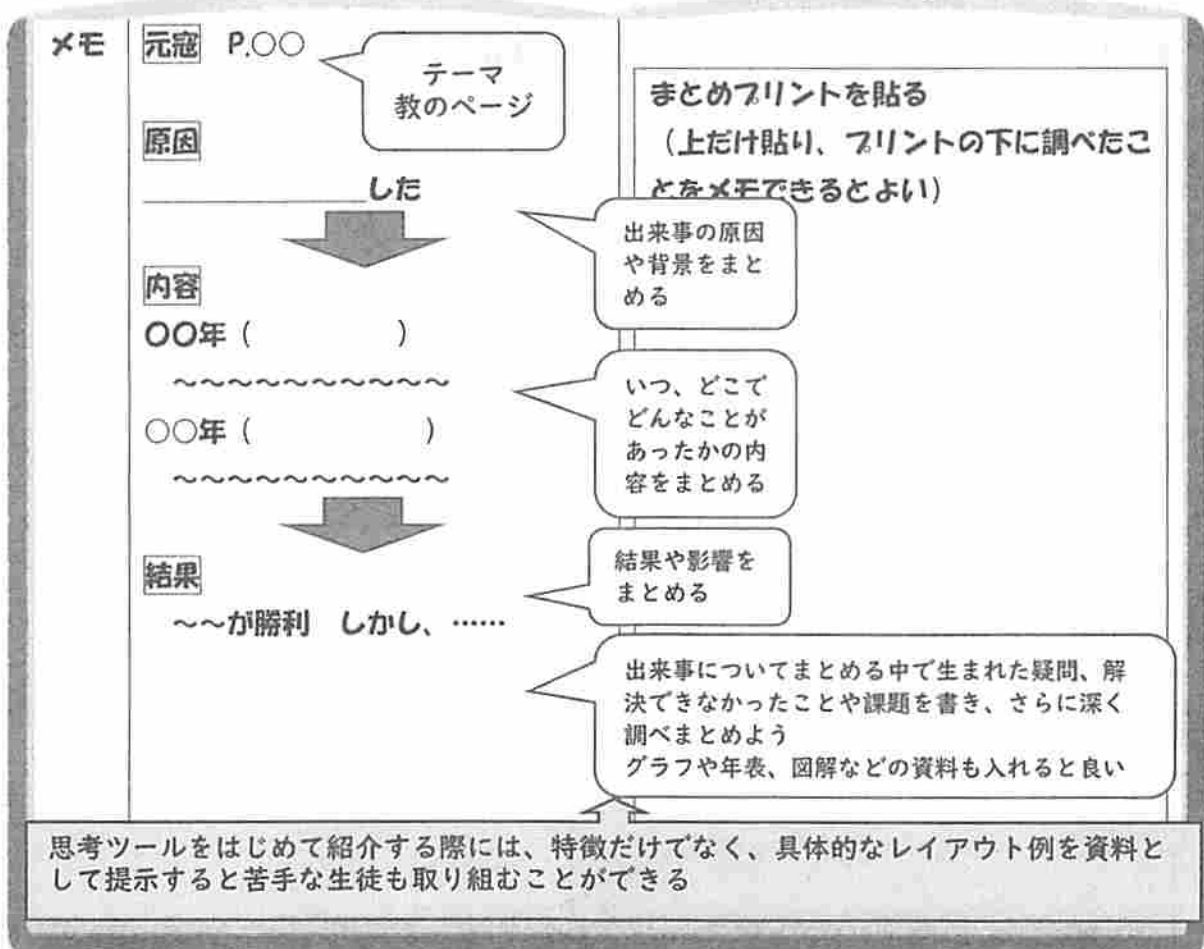
実践3 中1「武士の政権の成立」院政から武士の政権へ（東京書籍「新しい社会歴史」P.66～67）
 生徒のノート①（調査メモ）

1133年 日本貿易を開始。船路を整備し日本貿易を開始。
 宋銭を大量に輸入。貨幣経済を発展。
 東海地方の武士を育て、院政の窮を救った。
 1133年 日本貿易を開始。船路を整備し日本貿易を開始。
 宋銭を大量に輸入。貨幣経済を発展。
 東海地方の武士を育て、院政の窮を救った。
 1133年 日本貿易を開始。船路を整備し日本貿易を開始。
 宋銭を大量に輸入。貨幣経済を発展。
 東海地方の武士を育て、院政の窮を救った。



・まとめる力に関する資料

▼おすすめノート術 (例 ステップチャート)



思考ツール Xチャート、Yチャートの活用

生徒のノート①



生徒のノート②

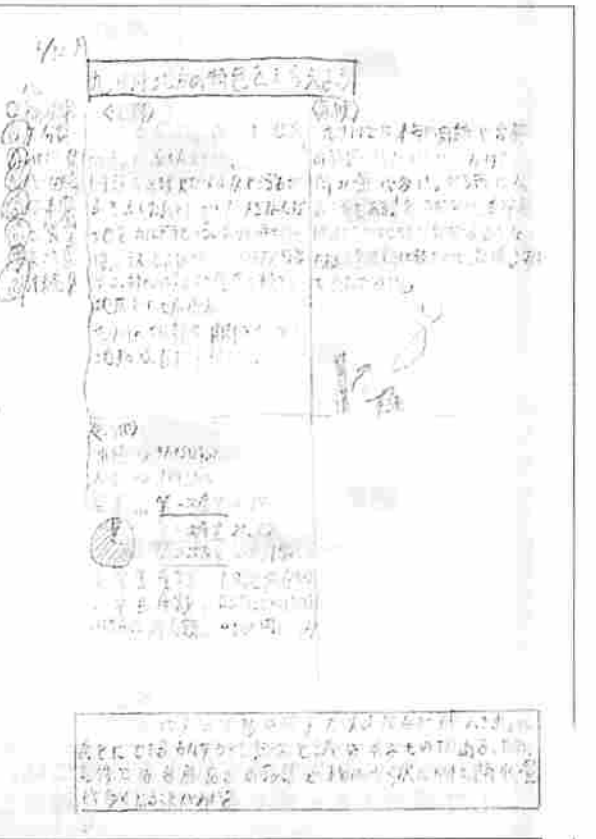


比較 中2「九州地方の特色」

生徒のノート③



生徒のノート④



くり返し思考ツールでまとめる場面を取ることで、1年時よりも2年時の方が短い時間で質の高いまとめができるようになった

その他 日頃の授業の中でも様々な思考ツールを活用している

思考ツール くま手チャート

生徒のノート⑤

生徒のノート⑥

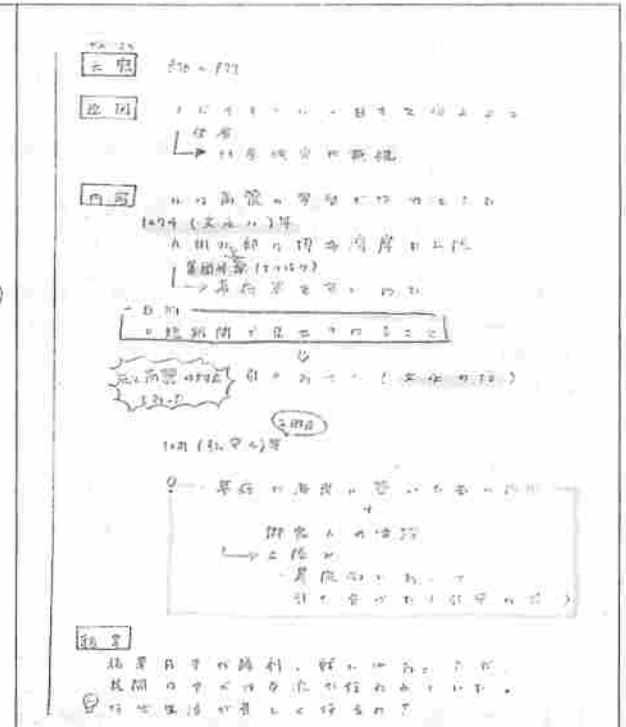
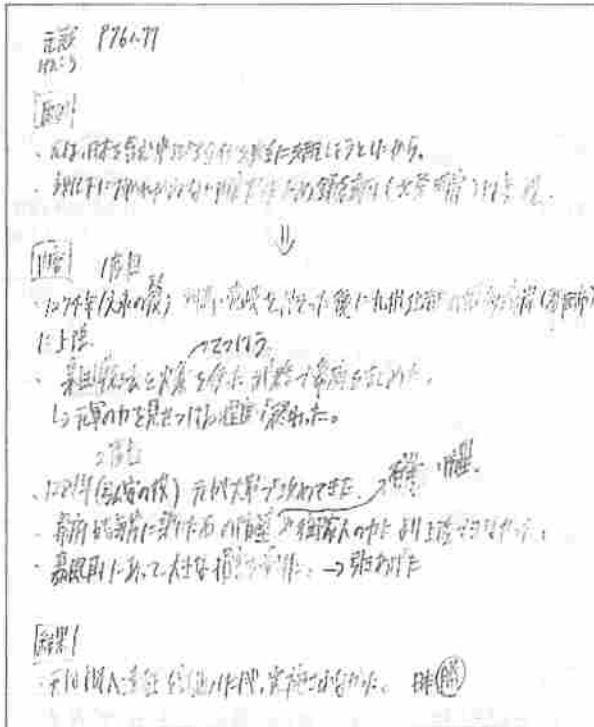


実践5 中1「モンゴルの襲来」(東京書籍「新しい社会歴史」P.76-77)

思考ツール ステップチャート

生徒のノート①

生徒のノート②



生徒のノート③

▼確認問題 調べたことやノート、教科書を参考にやってみよう

- 1274年に【文永】の役、1281年に【弘安】の役が起こった。
- ①の二度のモンゴル(元)の襲来を【元寇】という。
- ②のときのモンゴル皇帝は、【フビライ・ハン】である。
- ②のときの日本の戦艦は、【北条時宗】である。
- ②のあと、生活が苦しくなった御家人の生活を救うために借金を特許にする【金銭貸付】が出されたが、その後、1333年【足利三代義満】や足利三代らによって鎌倉幕府は滅ぼされた。

語彙 文永 弘安 元寇 フビライ・ハン 鎌倉幕府 北条時宗 後醍醐天皇

▼自分の言葉で「元寇」についてまとめてみよう

キーワード：フビライ・ハン 元 文永の役 弘安の役

元寇とは、フビライ・ハンが率いるモンゴル軍が、1274年と1281年に二度にわたって日本を襲ったこと。この二度の襲撃を「元寇」と呼ぶ。このとき、日本の戦艦は北条時宗が率いる北条軍であった。この戦いで、北条時宗は戦死した。その後、鎌倉幕府は滅ぼされた。

▼振り返り 自己評価(当てはまるところに○)をして、さらなるレベルアップを図ろう

	A	B	C
情報活用能力 (調査し、情報を吟味する力)	同じことについて複数の資料を比べ、より良い資料を判断することができた	調査するキーワードを複数決めることができた	調査するキーワードを1個決めることができた
協働力	多くの仲間と意見を比べ、自分の考えを深めることができた	仲間と意見交換し、疑問などを解消できた	仲間と意見交換ができた
まとめる力	複数の視点(一面、立場など)から資料を読み取り、まとめることができた	資料を参考に情報を整理し、情報をあげてまとめることができた	調べたこと(資料)を写すことができた
質問力 (問いや課題を立て、学習を深める力)	調べている中や2つ以上の課題をつくることができた 中・上級の質問を複数つくることができた	調べている中や1つ課題をつくることができた 中・上級の質問を1個つくることができた	課題の質問をつくれた 仲間を参考にできた
GOOD(良)	1つ以上の視点から調べたことについてまとめることができた		
BAD(反省)	仲間と意見を比べることができなかった		
NEXT(次)	調べたことについてまとめることができなかった		

生徒のノート④

▼確認問題 調べたことやノート、教科書を参考にやってみよう

- 1274年に【文永】の役、1281年に【弘安】の役が起こった。
- ①の二度のモンゴル(元)の襲来を【元寇】という。
- ②のときのモンゴル皇帝は、【フビライ・ハン】である。
- ②のときの日本の戦艦は、【北条時宗】である。
- ②のあと、生活が苦しくなった御家人の生活を救うために借金を特許にする【金銭貸付】が出されたが、その後、1333年【足利三代義満】や足利三代らによって鎌倉幕府は滅ぼされた。

語彙 文永 弘安 元寇 フビライ・ハン 鎌倉幕府 北条時宗 後醍醐天皇

▼自分の言葉で「元寇」についてまとめてみよう

キーワード：フビライ・ハン 元 文永の役 弘安の役

元寇とは、フビライ・ハンが率いるモンゴル軍が、1274年と1281年に二度にわたって日本を襲ったこと。この二度の襲撃を「元寇」と呼ぶ。このとき、日本の戦艦は北条時宗が率いる北条軍であった。この戦いで、北条時宗は戦死した。その後、鎌倉幕府は滅ぼされた。

▼振り返り 自己評価(当てはまるところに○)をして、さらなるレベルアップを図ろう

	A	B	C
情報活用能力 (調査し、情報を吟味する力)	同じことについて複数の資料を比べ、より良い資料を判断することができた	調査するキーワードを複数決めることができた	調査するキーワードを1個決めることができた
協働力	多くの仲間と意見を比べ、自分の考えを深めることができた	仲間と意見交換し、疑問などを解消できた	仲間と意見交換ができた
まとめる力	複数の視点(一面、立場など)から資料を読み取り、まとめることができた	資料を参考に情報を整理し、情報をあげてまとめることができた	調べたこと(資料)を写すことができた
質問力 (問いや課題を立て、学習を深める力)	調べている中や2つ以上の課題をつくることができた 中・上級の質問を複数つくることができた	調べている中や1つ課題をつくることができた 中・上級の質問を1個つくることができた	課題の質問をつくれた 仲間を参考にできた
GOOD(良)	見やうよくまとめ、覚えることができた。		
BAD(反省)	もう少し細かい所を書けば良かった。		
NEXT(次)	細かい、いろいろな視点が必要だ。		

まとめる際にキーワードを示すことで調べたことを結び付けてまとめを書くことができた
ルーブリックを意識することでノートに書いたことをもとに自分の言葉でまとめようとしていた

・話し合い、伝える力に関する資料

ワークショップ型発表



- ワークショップ型発表のやり方
- ① 自分の調べた情報を商品として売る
 - ② お店の人はお客さんにわかりやすく説明や提案をする(読み上げるだけはNG)
 - ③ お客さんはメモしながら聞き、質問をする
 - ④ お客さんは質問の答えを聞いた上で「100円」満点で評価する
- ※複数のお店に行く | 回の説明の定員は5人まで



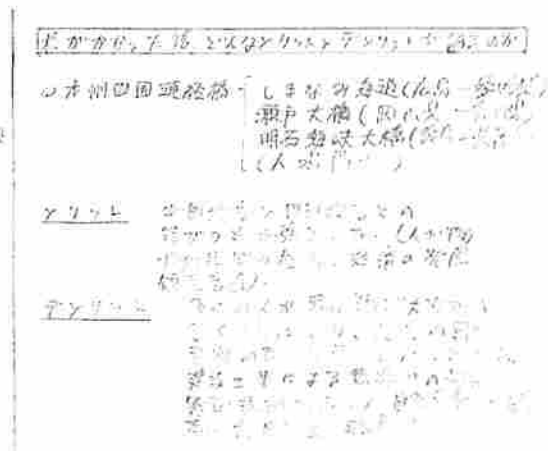
3分で発表できるように準備をして、お店を開く



タブレットで資料を提示しながらわかりやすく伝えようと工夫している

実践7 中2「中国・四国地方」交通網の整備と人や物の移動の変化 (東京書籍「新しい社会地理」P.200-201)

生徒のノート①



プレゼンテーション型（授業型）発表
生徒が作成し、授業に使ったスライド

①



②

角島大橋

- ・角島と本州をつなぐ橋！
- ・全長17,80m！
- ・2000年に完成！

・映画やCMの撮影に協力！
鳥の魅力や知名度UP!!



③



④

島々

- ・建筒家や芸術家と協力してつくられた島の自然や歴史を活かしたものが各地に展示！！
- ・個性的な作品を求めて国内外から多くの観光客が！
- ・外国人観光客はインターネットを通じて魅力発信。→新たな観光客！

動画等も活用し、わかりやすく発表できた

https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangomu/?tag_id=D0005120464_00000

・振り返る力に関する資料

リフレクションカード

学習内容の知識等の振り返り

▼確認問題 調べたことやノート、教科書を参考にやってみよう

- ① 1274年に【 】の役)、1281年に【 】の役】が起こった。
- ② ①の二度のモンゴル（元）の襲来を【 】という。
- ③ ②のときのモンゴル皇帝は、【 】である。
- ④ ②のときの日本の執権は、【 】である。
- ⑤ ②のあと、生活が苦しくなった御家人の生活を救うために借金を帳消しにする【 】が出されたが、その後、1333年【 】や足利尊氏らによって鎌倉幕府は滅ぼされた。

語群 文永 弘安 元寇 フビライ・ハン 徳政令 北条時宗 後醍醐天皇

生徒のレポート② (リニア慎重派)

私	ほ	中	史	リ	ニ	ア	新	新	線	の	建	設	を	傾	重	に	進	め
る	バ	だ	と	リ	リ	ア	新	新	線	の	建	設	を	傾	重	に	進	め
環	境	に	ク	リ	リ	ア	新	新	線	の	建	設	を	傾	重	に	進	め
二	酸	化	炭	素	の	排	出	量	が	て	よ	り	速	く	移	動	が	可
量	で	浮	く	こ	と	に	よ	り	速	く	移	動	が	可	能	に	り	る
カ	ス	ク	考	え	ら	れ	て	環	境	の	は	リ	ッ	ト	も	あ	り	ま
ス	ク	考	え	ら	れ	て	環	境	の	は	リ	ッ	ト	も	あ	り	ま	あ
と	の	進	め	る	中	で	環	境	の	は	リ	ッ	ト	も	あ	り	ま	あ
一	部	に	影	響	が	て	し	ま	う	リ	ッ	ト	も	あ	り	ま	あ	
し	た	。こ	の	よ	う	に	進	め	る	バ	き	だ	と	思	い	ま	あ	
る	中	に	そ	の	傾	重	に	進	め	る	バ	き	だ	と	思	い	ま	あ

▼提出前に評価のポイントのチェックしてみよう！

評価

自分の立場を書いている 具体例や根拠をあげている 複数の視点から書いている

テスト前に教員が評価に使うループリックそのものを見せると答えそのものになることがあるため、ポイントやチェック項目として生徒に示す
生徒も自分で書いたレポートをセルフチェックしてより良いレポートを書こうとしている

生徒のレポート③ (リニア賛成派)

と	私	ほ	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ	
・	思	い	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ	
答	を	古	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ	
は	の	屋	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ	
可	東	で	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ	
東	京	か	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ	
し	て	、	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ	
二	ち	地	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ	
い	ち	理	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ	
は	、	環	境	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ
て	、	環	境	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ
に	私	は	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ	
に	私	は	、	リ	ニ	ア	新	新	線	の	開	発	を	進	め	る	バ	き	だ	

▼提出前に評価のポイントのチェックしてみよう！

評価

自分の立場を書いている 具体例や根拠をあげている 複数の視点から書いている

レポートのルーブリック

項目	A (2点)	B (1点)	C (0点)
主張	自分の主張や立場が明確に書いている	自分の主張や立場が読み取れる	自分の主張や立場が明らかでない
具体例や根拠	主張とつながる具体例や根拠が複数か書かれている	具体例や根拠が書かれている	具体例や根拠が書かれていない(感想になっている)
複数の視点 (多面的、多角的な見方)	多面的、多角的に複数の視点で書かれている	1つの視点から書かれている	視点を読み取れない
内容の正確さ	記述内容が正しく、論が成り立っている	論は成り立っているが、記述内容に不正確な部分がある	記述内容に誤りが複数あり、論が成り立っていない
分量	200字程度	160字程度	100字未満

パフォーマンス課題のレポートについては、ルーブリックを活用して評価している
10点満点からの減点法で採点し、何が減点になったかも生徒にもフィードバックする

・「個別最適」、「協働的」な学びに関する資料

人口を増やすには？

- ・青年就業修習会
- ・インターネットを活用して無理なくできる
- ・移動型授業
- ・スーパーとかなんかあると便利

解決の取り組みと効果

向島大橋
G検やレゴにも取り出されてる
東京から徒歩10分圏内に若狭まで観光客も増やす取り組みしてる
遠征化が促進し、農業の学習環境が改善する
公共サービスの提供が賢くなる

まとめ

- ・遠征化の対策をするために自然遠征とかを標やす
- ・そしたらネットとかでもここにいよいよ一歩のことになってどんどん
学生もここに来てもらうために自然遠征とか海を降ろしに
促ったり学校でいじめとかを少なくしたり代表的な果物にしたら人
口増えると思う。



近畿地方

- ・府庁所在地
- ・兵庫県神戸市 京都府京都市 滋賀県大津市 大阪府大阪市
- ・和歌山県和歌山市 奈良県奈良市 三重県津市
- ・河上まとめ
- ・近畿地方の特色と謎
- ・和歌
- ・リアス海岸・・・複雑な海岸線
- ・② 若狭湾 志保半島へ 百鬼の養育
- ・琵琶湖・・・日本最大の湖 京阪神の水がめ

ノートが白紙で「調べ学習ができない」と思っていた
生徒がタブレットでのノートを取ることもやまとめを許可したところ、積極的に学習をするようになった

「レポートを全然書けない」と思っていた生徒(外国籍生徒)に英語でレポートテストを回答することを許可したところ、しっかりと表現できた

I agree that the linear shinkansen should be built.
The reason it should be built is because it would make traveling around Japan faster and easier! For example it would only take about a hour but if you used a normal shinkansen it would take about 3 hours. There is about a 2 hour difference between the linear shinkansen and a normal shinkansen.
But there are some parts about building the linear shinkansen I disagree with. For example if the linear shinkansen gets built it, they would have cut down over 200 year old beech tree which would bad for the environment and it is said that they will drill a tunnel in the southern Alp. And It would be bad for the water supply.

授業では、目的に照らし合わせて大きくずれることがなければ、最大限多様な学び方を保障している

スタディ・ログ（学習履歴）の活用

ドリルパーク 七次台中学校 (七中) 柴田15先生

名前	問題	学習時間	開始日	正解数	正解率	残り問数	問題数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	6-1 世界と比べた日本の地...	基礎問題	05月30日 10:47	41秒	100%	0%	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6-2 世界と比べた日本の地...	基礎問題	05月30日 10:55	42秒	100%	0%	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4-2 東アジア世界の動きと...	基礎問題	05月30日 10:59	48秒	100%	0%	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5-1 ヨーロッパの拡大と全...	基礎問題	05月30日 11:00	2分	100%	0%	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5-2 ヨーロッパの拡大と全...	基礎問題	05月30日 11:09	1分	100%	0%	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6-1 世界と比べた日本の地...	基礎問題	05月30日 10:51	3分	70%	0%	1	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○
	6-2 世界と比べた日本の地...	基礎問題	05月30日 10:54	6分	35%	7%	1	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	4-2 東アジア世界の動きと...	基礎問題	05月30日 11:00	5分	70%	0%	1	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
	5-1 ヨーロッパの拡大と全...	基礎問題	05月31日 10:44	3分	90%	0%	1	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
	5-2 ヨーロッパの拡大と全...	基礎問題	05月31日 10:46	4分	93%	0%	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	6-1 世界と比べた日本の地...	基礎問題	05月30日 10:46	3分	100%	0%	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6-2 世界と比べた日本の地...	基礎問題	05月30日 10:52	9秒	100%	0%	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4-2 東アジア世界の動きと...	基礎問題	05月30日 10:55	16秒	100%	0%	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

生徒の調べ学習を中心に進めた単元については特にドリルパークのスタディ・ログを活用して生徒一人一人の学習定着度を確認している
特に、教員側は「できているだろう」と思っていたが、実はできていなかったという見立てのずれがある生徒を見つけ、支援することができる

ICT の活用

ブラウザ: Microsoft Edge
URL: https://miraiseed.henesse.jp/...
広場 私のノート 2023年1月31日:3時間目武士の成長 共有が有効なノート 終了

みんなの広場 参加中

Q 武士が力を伸ばしたできごとは何だろうか

Q 武士団の中でも特に力を伸ばしたの

GOOD ノートや良いまとめ、役に立つ資料等はオクリンクやムーブノートを活用して積極的に共有している

・検証 授業アンケート

「自ら課題や目標を立てて授業に取り組むことができているか」

	昨年度（実践中の7月）	今年度（実践後の7月）
大変よくあてはまる	0%	8%
よくあてはまる	61%	86%
あまりあてはまらない	34%	6%
全くあてはまらない	5%	0%

「ペアやグループ活動での意見交換を通して考えを深めることができたか」

	昨年度（実践中の7月）	今年度（実践後の7月）
大変よくあてはまる	10%	25%
よくあてはまる	64%	67%
あまりあてはまらない	18%	6%
全くあてはまらない	1%	1%

「授業を通して調べる力がついたと思うか」

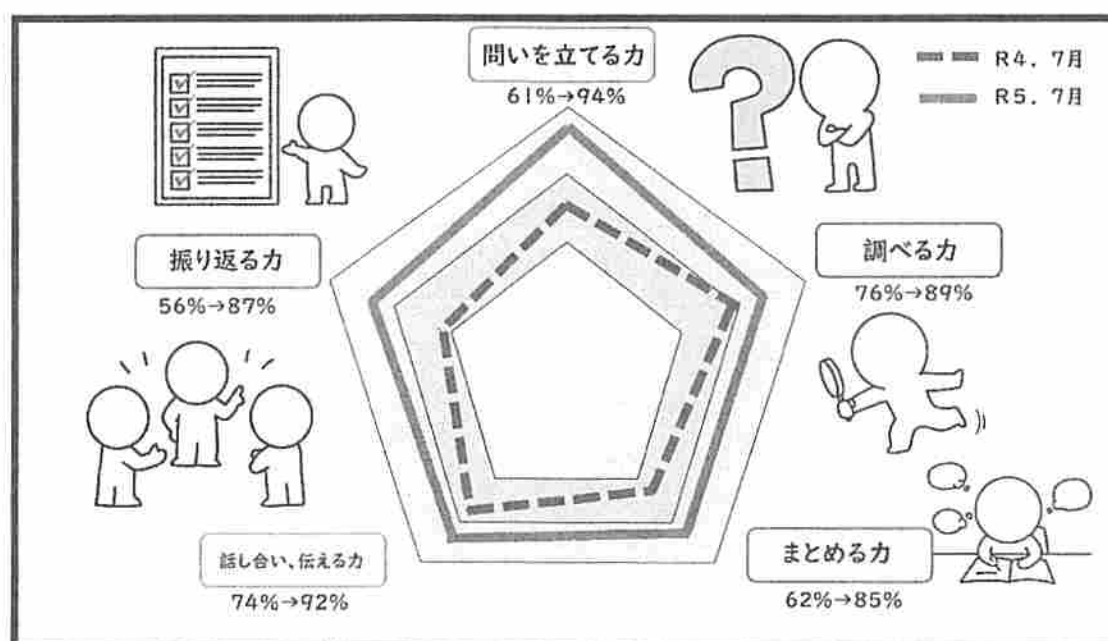
	昨年度（実践中の7月）	今年度（実践後の7月）
大変よくあてはまる	10%	22%
よくあてはまる	66%	67%
あまりあてはまらない	24%	11%
全くあてはまらない	0%	0%

「授業を通して学習課題に対する自分の考えを書く力が高まったと思いますか。」

	昨年度（実践中の7月）	今年度（実践後の7月）
大変よくあてはまる	10%	19%
よくあてはまる	52%	66%
あまりあてはまらない	38%	15%
全くあてはまらない	0%	0%

「授業を通して自らの学習を振り返り、改善しようと思いましたか」

	昨年度（実践中の7月）	今年度（実践後の7月）
大変よくあてはまる	2%	15%
よくあてはまる	54%	72%
あまりあてはまらない	43%	12%
全くあてはまらない	1%	1%



参考資料

- ・田村学、黒上晴夫『考えるってこういうことか！「思考ツール」の授業』（小学館、2013年）
- ・田村学『深い学び』（東洋館出版、2018年）
- ・川原雅樹『新学習指導要領必須事項が身につく！社会科の授業設計楽しい！面白い！調べ学習のヒント100』（学芸みらい社、2020年）
- ・西岡加名恵『「逆向き設計」実践ガイドブックー『理解をもたらすカリキュラム設計』を読む・活かす・共有する』（日本標準、2020年）
- ・宗實直樹『深い学びに導く社会科新発問パターン集』（明治図書、2021年）
- ・「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～答申（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/content/20210428_mxt_kyoiku01-00014639_10.pdf
- ・「GIGA スクール構想の実現について」（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm
- ・「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム（改訂版）※令和4年度～
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kvouiku/shidou/gakuryoku/zissenmoderu/documents/zissenmodel2022-all.pdf>
- ・「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会科」（文部科学省）
https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387018_003.pdf
- ・「コロナのデマどう見極める？」（「朝日新聞デジタル」2020年7月17日 中山和弘・聖路加国際大学大学院教授）
<https://www.asahi.com/articles/ASN7H730NN6LUHBI03P.html>



主体的な学習者の育成

～アクティブ・ラーナーを育てる段階的な学びの在り方～

白井市立七次台中学校

生徒自身で課題を見つけて学習できるような力をつけてこなかった…

よりよい社会の実現に寄与する「生きる力」を培う社会科学習

～自ら課題をみだし、自らの考えを表現できる児童生徒の育成～



生徒自身で学習する力をつけなくては…

アクティブ・ラーニング見よう見まねでやってみた

学習課題

- ① 人類と猿の違いを説明しなさい
- ② どのように進化したのか説明しなさい

導入と説明 (5分)

調査 (40分)

共有とまとめ (5分)

導入と説明 (5分)

調査 (45分)

共有とまとめ (次の授業)

アクティブ・ラーニング見よう見まねでやってみた

やらされている感

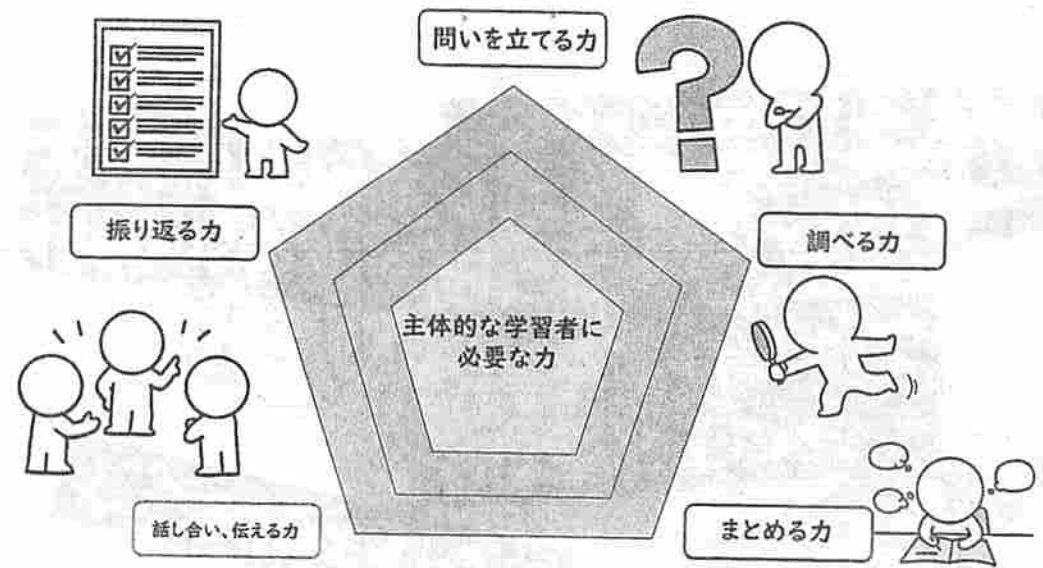
×調べている
○写している

×発表している
○読み上げている

時間がかかる割に…
本当に理解できた?

時間差…

このままではいけない… NEXT



②



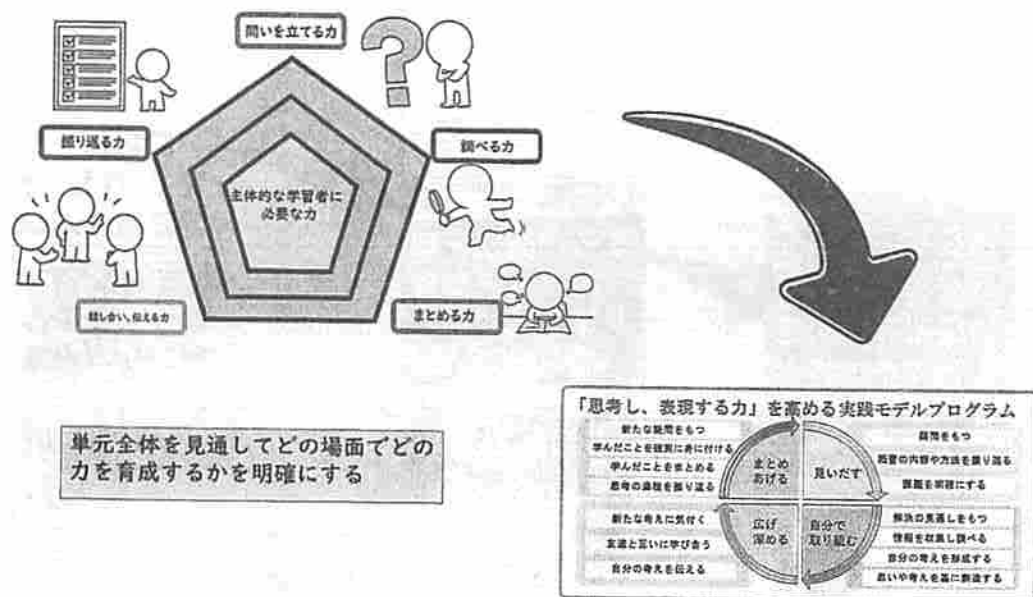
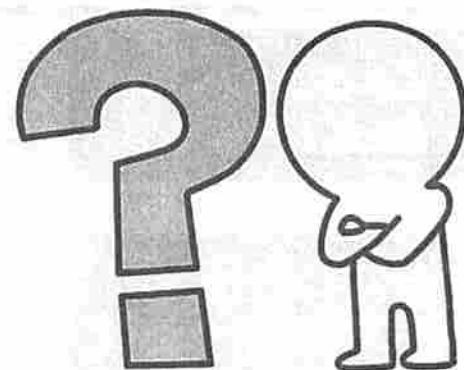
研究仮説

主体的な学習を「問いを立てる力」、「調べる力」、「まとめる力」、「話し合い、伝える力」、「振り返る力」の5つの要素に分け、年間を通して様々な社会問題や課題について考え、解決する場面で段階的に指導することで、よりよい社会の実現に寄与する主体的な学習者を育成することができるであろう。

本研究のめざす主体的な学習とは、

「生徒が社会的な事象をとらえ、自ら問いを立てる、あるいは問題意識をもち、課題の解決のために、協働する中で試行錯誤し、自分なりの考えを持ったり、意見を発信したり、行動する」ことである。

問いを立てる力



現状（生徒の実態）

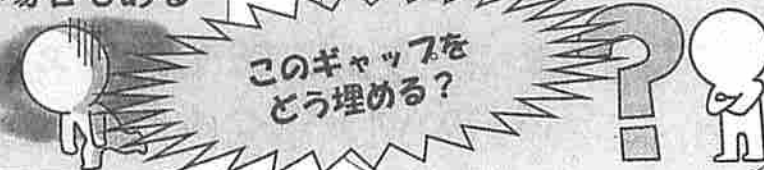
教員から全員に同じ課題が与えられ、やらされている感がある

自ら調べるテーマを決めさせると浅い問いを立ててしまう場合もある

理想（めざす生徒の姿）

資料等から自ら課題を見つけ、問いを立てる（個別最適）

本質に迫るような深い問いを立てる



問いを立てる力



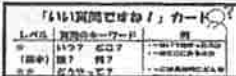
資料を読み取る

資料からの気づきを3つ以上あげる活動

わかったこと
気づいたこと
思ったこと

課題や疑問から
問いを立てる

問いの補助輪
(いい質問ですねカード)を
使って問いを立てる活動



多面的・多角的に検討して
問いを立てる

イメージマップ
で課題を複数の
視点から検討し、
問いを立てる活
動



問いを立てる力



資料を読み取る力がついていないから
疑問や課題を自分で見つけることはできない

わかったこと、気づいたこと、思ったことを3つ
書きなさい



実践1 「南アメリカ州 アマゾンの開発」

1975年
アマゾンの衛星写真

1990年
アマゾンの衛星写真



• NASANASA reveals 37 years of Amazon deforestation by juxtaposing satellite photos of western Brazil taken in 1975
• Zoom: Mother Nature Network's Brazil/Millennium

生徒
「アマゾンがピンチ」
「アマゾン(緑)が減っている」

感想的なもの
直観的なもの

生徒
「わずか15年間で熱帯林が
大幅に減少している」

資料から複数の情報を
読み取ってわかること

生徒「熱帯林は直線的に減少して
おり、人工的に開発されたと思う。
このままだと減り続けるだろう。」

社会的な見方・考え方を働かせ、推論できること

1990年 アマゾンの衛星写真

2000年 アマゾンの衛星写真



今回からレベルアップ！これらの写真から自分たちでアマゾンについての学習課題を決めよう！



アマゾンの熱帯林の減少

なぜ？ (理由)

いつごろから？なぜこの時期？ (時期)

このままだとうなる？ (未来・影響)

解決策には何がある？ (解決策)

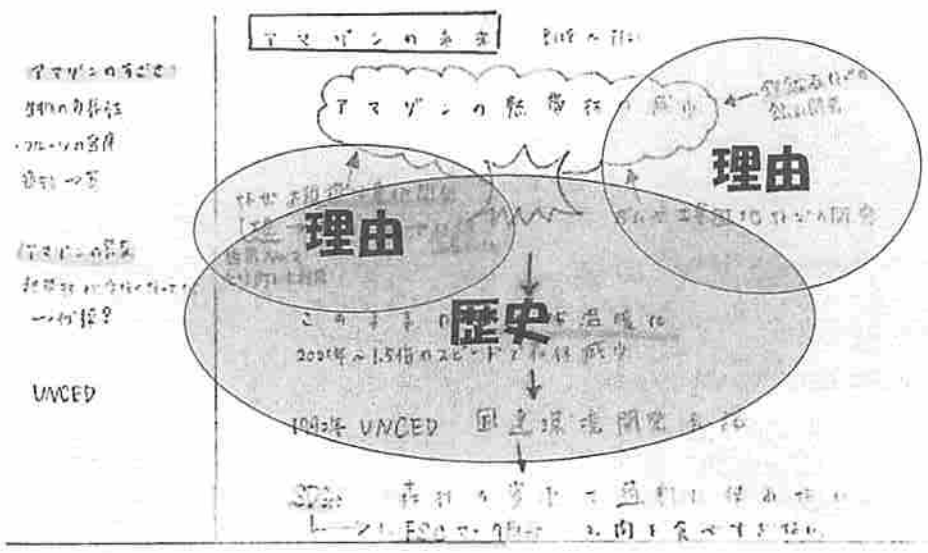
補助輪として「いい質問ですねカード」を使うことでより多面的な深い問いを立てることができた

5

「いい質問ですね！」カード

レベル	質問のキーワード	例
☆ (基本)	いつ？ どこ？ 誰？ 何？	・～はいつ始まったのか ・～はどこにあるのか
☆☆ (中級)	どうやって？ どんな～？ 具体的には？ 他には？ 共通点 (違い) は？ 良い点、悪い点は？	・～には具体的にどんな解決策があるのか ・～とは、どんな共通点 (違い) があるか ・他にはどんな～があるか ・～の他にも当てはまること があるか ・～の良い点と悪い点 (メリ ット、デメリット) は？
☆☆☆ (上級)	なぜ？ どうして？ 本当に～か？ その後 (今後) は？ もし～だったら？ どちらがよいか？	・なぜ～なのか ・本当に～と言えるのか ・もし～の立場だったら、 どうだろうか ・もしこのままだったら、 今後はどうなるだ ろうか

個別最適・協働的な学びの視点
苦手な生徒はこのカードの例に
当てはめながら取り組む
考えた問いはICT等で共有



歴史

理由

調査結果からわかること
 森林減少、河川の増水
 原因は、...

調べている中で解決策はないのが気になったので、調べてみた

やらされている感からの脱却
 ↓
 主体的に学習する態度

解決策

2019.7.19

9

環境学習の流出
 分解と不分解の処理 → 土壌栄養分

影響

地球温暖化と森林
 樹木の二酸化炭素を吸収して酸素を放出する。温暖化が進むと、森林は深刻なダメージを受ける。

温暖化が進むと、森林は深刻なダメージを受ける。

実践2 「中国・四国地方」 過疎化

中国・四国地方の、過疎化問題を解決するための、取り組みを調査し、まとめた。

若者の視点

高齢者の視点

経済面

社会面

イメージマップの活用
 ↓
 より多面的・多角的に考察
 ↓
 当事者意識（よりリアルな視点）で問いを立て、調べるようになった

<p>【調査】</p> <p>＜若者が思うこと＞ ① 若者の視点 ・一人ひとりの自立 ・地域活性化のため ・若者の移住を促す</p>	<p>＜高齢者が思うこと＞ ② 高齢者の視点 ・若者の移住を促す ・若者の移住を促す ・若者の移住を促す</p>	<p>＜地域が思うこと＞ ③ 地域が思うこと ・若者の移住を促す ・若者の移住を促す ・若者の移住を促す</p>
--	--	--



町おこしの成功例と失敗例にはどんなものがあるか

町おこしの成功例と失敗例にはどんな違いがあるか

成功例は地元の人や資源を活用している
一方
失敗例は地域の良さが生かせていない
どこでもできることが多い

ファシリテーターとしての視点（学習が深まるような調整を行う進行役）

- ・学習が深まりそうな問いを立てている生徒（キーパーソン）をとらえ、全体で検討できるような「掘さぶる問い」を考え、投げかける
- ・生徒の問いをKJ法等で分類し、テーマとの関連や相互の問いのつながりを示し、「協働が生まれるしかけ」をする

現状（生徒の実態）

テーマに沿った必要な情報がわかっておらず、調べられない

情報を吟味せず、インターネットの丸写しで内容の理解が深まっていない



このギャップをどう埋める？

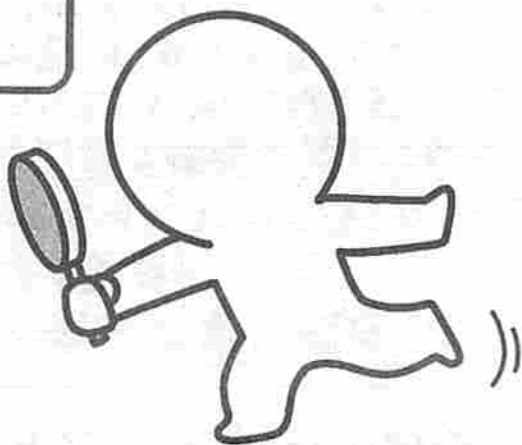
理想（めざす生徒の姿）

どんな資料が必要か見通しを持ち、限られた時間の中で調べられる

複数のメディアからより適切な情報かを判断し、考察する



調べる力



調べる力



資料を使いこなす

目次や索引、教科書から調べる習慣をつける活動
地名引き
人物引き等

調べ学習の見通しを立てる

どんな資料が必要か、検索する言葉を何にするかを考える活動

調べる力	調べる力
目次や索引、教科書から調べる習慣をつける活動	地名引き、人物引き等
調べ学習の見通しを立てる	どんな資料が必要か、検索する言葉を何にするかを考える活動

情報を吟味する

協働的な学習や情報吟味カードを活用し、適切な情報が確認する活動



調べる力



教科書や本から必要な情報を調べることに慣れさせる必要がある

ニュースや授業内容に関連した地図(地名)引き

「ウクライナの場所を探して丸を下さい」

教科書から必要な情報を探して線引き

「〇〇が行ったことを探して線を引きなさい」

「理由を3つ探して、線を引きなさい」

「よくわからない言葉に線を引きなさい」



ポイント 「武士の政権」

① 1156年、平清盛が摂政・関白に就任し、平家物語の舞台となる。平家物語の舞台となる。平家物語の舞台となる。

② 1159年、平家物語の舞台となる。平家物語の舞台となる。平家物語の舞台となる。

③ 平家物語の舞台となる。平家物語の舞台となる。平家物語の舞台となる。

④ 1185年(平治の乱)で平家物語の舞台となる。平家物語の舞台となる。平家物語の舞台となる。



個別最適・協働的な学びの視点

情報をまとめるワークシートで足りなかった情報を補う

役立つ資料や情報はICT等で共有する

調べ学習の見通しを立てる

実践3 「武士の政権の成立」

問いを立てる (5分)

調査 (30分)

共有とまとめ (15分)

平清盛はどのように政権を握ったか

情報を吟味する

▼情報を読み取るときや発信するときの注意点(メディアリテラシー)

「か・ち・も・せ・い」を確認しよう!

- か…書いた人は誰か(信頼できる専門家が書いているか、書き手を明らかにしているか)
- ち…違う情報と比べたか(他の情報と比べて、偏りや矛盾はないか)
- も…元ネタは何か(根拠となる正確なデータはあるか、出典が書いてあるか)
- せ…何のために書かれているか(お金儲け等の目的で読み手を誘導する情報ではないか)
- い…いつの情報か(最新の情報か、今も情報(内容)に変更がないか)

生徒の予想
軍事力 政治が上手 経済力

調査のキーワードと資料
平清盛 戦い 武士団 政策
経済力 貿易の利益

見通しを立てる活動→助言する機会があり、必要な情報にたどり着きやすい
情報吟味カード →複数の情報を比べる習慣がついてきた



生徒になったつもりで調べておき、インターネット等では不足するであろう資料や偏る情報を調整する資料を準備しておく

ファシリテーターとしての視点(学習が深まるような調整を行う進行役)

- 図書室等と連携し、関連資料を整えておき、複数の情報を比べられる環境を整える
- 情報が間違っている生徒には問いかけ、正しく調べている生徒との交流を促す。丸写しする生徒には、全体の場で様々な「語り」をする。

まとめる力



まとめる力



必要な情報を
まとめる

思考ツールを活用したノートま
とめ



XYチャート → 分類する
ステップアップチャート → 順序立てる

授業のまとめを
短文で書く

文章の型を提示
し、学んだこと
をまとめる活動

まとめ
○○というメリットが
ある一方で、××とい
うデメリットがある。

レポートに
まとめる

ルーブリック（評
価基準）を意識し
てキーワードを盛
り込んでまとめる
活動

現状（生徒の実態）

どうやって必要な情報
をまとめてよいかわか
らない生徒がいる

学んだことを文章でま
とめることを苦手とする
生徒が多い



このギャップを
どう埋める？



理想（めざす生徒の姿）

必要な情報をわかりや
すく、適切な方法で整
理することができる

学んだことや考えたこと
をふまえて、文章でま
とめることができる

思考ツールを使ってまとめる

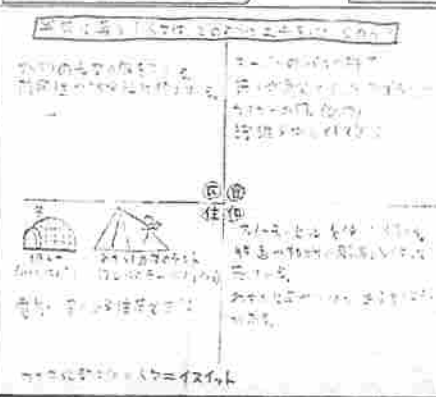
問いを立てる
(5分)

調査
(30分)

共有とまとめ
(15分)

短文でまとめる

実践4 「世界各地の人々の生活と環境」



まとめ（文章の型）
○○に生活する人々は、~~~~~といった工夫をしている

くり返しまとめる活動を行う→短時間でまとめる力がついてくる

その他の実践 「九州地方の特色」

九州地方の特色

九州地方の特色

その他の実践 「ヨーロッパ州」

ヨーロッパ州

XYチャート
→ 分類する

その他の実践 「ヨーロッパ州」

ヨーロッパ州

まとめ
ミレカで来たことでの究の物財などかきさる
にな、たり、通貨がユーロで統一され便利に
な、えで、加盟のりすの経済格差などの課題がある。

くまで図
→ 多面的にみる

短文でまとめる

意見・立場
○○と考える。なぜなら、～～だからだ。
○○に賛成・反対である。その理由は○つある。まず、～～。

主な文章の型を提示し、学んだことをまとめる活動

特色・比較・類似
○○には○つの特色がある。1つは、～。2つは、～である。
○○には、△△と比べて～～という違い（同じ点）がある。

個別最適・協動的な学びの視点

メリット・デメリット
○○には～～という良い点がある。一方で、～～という悪い点がある。

苦手な生徒には文章の型を提示

多面性
○○面では、～である。△△面では～～だと言える。

良いまとめは発表やICTで共有

推移・変化・出来事→背景（理由）
○○が△△になった。理由は、～～である。

推移・変化・出来事→影響（結果）
○○が起こった。それによって、～～になった。

176-77

176)

177)

ステップアップチャート
→ 順序立てる

レポートにまとめる

関連づけて理解したい言葉とルーブリックを提示し、100字程度でまとめる

▼自分の言葉で「元寇」についてまとめてみよう
キーワード：フビライ・ハン 元 文永の役 弘安の役

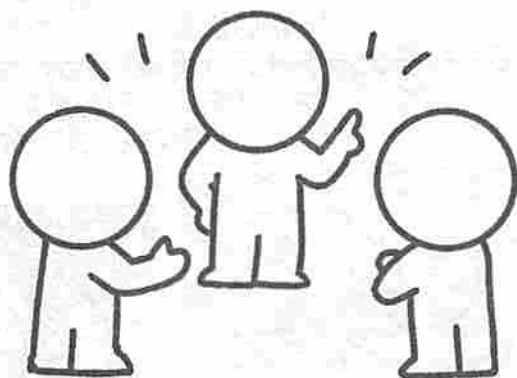
まとめるか	A	B	C
	複数の視点（一面、立場など）から資料を読み取り、まとめることができた	資料を参考に情報を整理し、根拠をあげてまとめることができた	調べたこと（資料）を写すことができた

ファシリテーターとしての視点

- ・B評価の基準を示し、助言する
- ・作業時間の差で空白が生まれないうような工夫をする。

元寇はフビライ・ハンが日本を従えようとするために起こした文永の役、弘安の役のことで、文永の役では集団戦法やてつはうによって苦しんだ、弘安の役では天候などにもよる、日本が勝利した。しかし、日本の御家人は生活が苦しくなり、後に鎌倉幕府は滅びた。

話し合い、伝える力



現状 (生徒の実態)

相手意識に乏しく、調べてまとめたノートを読み上げるだけの発表をしている。

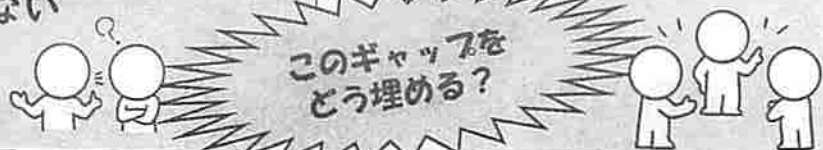
やりとりが少なく考えが広がったり、深まったりしていない

理想 (めざす生徒の姿)

まとめたノート等をもとに適切な資料を使って発表することができる

話し合いを通して考えを広げたり、深めたりできる

このギャップをどう埋める？



話し合い、伝える力



意見を共有する

小まめにペアワーク、グループワーク (意図的、計画的にメンバー変えた)

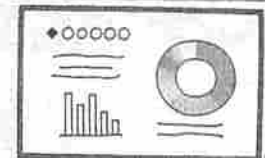
多くの人に伝え、質問に答える

ワークショップ型発表を行う



伝え合い、考えを深める

プレゼンテーション (授業) を行い、議論や討論をする



調査したことを共有しよう!

- ①課題 私は〇〇を調べました。(10秒)
- ②調査内容 調べてわかったことは…(1分~1分30秒)
- ③まとめ (課題の答え)と考えました。(20秒)
- ④質問タイム 質問はありますか(30秒~1分)

早く終わった時はお互いの良かったところ、もっとこうすると良いところを伝えあおう!

▼発表前に確認しておく

- 聞き手にとって難しい言葉はないか? (難しい言葉は説明できるように!)
- 聞き手にとってわかりやすい工夫は? (話すスピード、目線、資料の見せ方)

調査(続き)
(20分)

発表・話し合い
(20分)

まとめ
(10分)

ワークショップ型発表



ワークショップ型発表のやり方

- ①自分の調べた情報を商品として売る
- ②お店の人はお客さんにわかりやすく説明や提案をする(読み上げるだけはNG)
- ③お客さんはメモしながら聞き、質問をする
- ④お客さんは質問の答えを聞いた上で「100円」満点で評価する

※複数のお店に行く1回の説明の定員は5人まで

多くの人に伝え、質問に答える

ワークショップ型発表を行う

↓
自分のわかっていなかったところがある全員に発表の機会があり、回数を重ねる中で説明が上手になった

個別最適・協働的な学びの視点

- ・ペアワークやグループワークは意図的、計画的にメンバーチェンジを行い、どの生徒とも意見交換ができる環境をつくる
- ・作業時間の差を利用して、発表の準備やリハーサルをさせ、発表中は見守り、評価する
- ・学習が深まる論点を見つけ、必要に応じて議論させる



岡山県・香川県周辺の通勤・通学者数の変化
(「国勢調査報告」平成27年ほか)

香川⇒岡山
2170人

岡山⇒香川
2453人

問いを立てる
(10分)

調査
チームで発表準備
(40分)

資料を提示し、交通網と中国・四国地方の人々をテーマに学習課題(問い)を立てさせる

KJ法で問いをグループ分けし、調査開始

ファシリテーターとしての視点
第1時 教員はテーマとなる資料を提示し、あとは生徒に任せる。グループ分け後は、調査や発表のリハーサルの助言をする

伝え合い、考えを深める

発表(授業)
と話し合い
(40分)

まとめ
(10分)



問いを立てる
(10分)

調査
チームで発表準備
(40分)



伝え合い、考えを深める

発表(授業)
と話し合い
(40分)

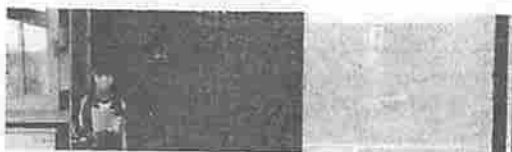
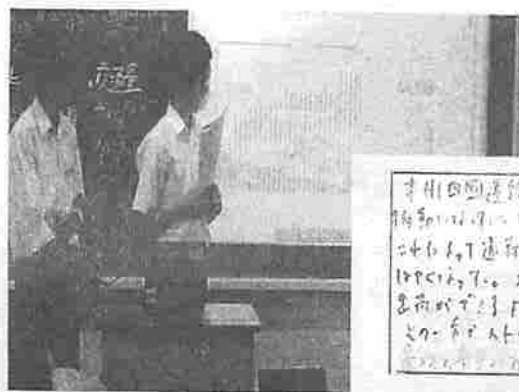
まとめ
(10分)

生徒がスライドや黒板も使って工夫して授業(発表)をする

発表終了後、「本州・四国連絡橋は中国・四国地方を豊かにしたと言えるか」を話し合わせ、まとめを書かせる

ファシリテーターとしての視点
教員は発表の素晴らしかった点を取りあげたり、学習や議論が深まりそうな問いを与えたりする

振り返る力



中国四国連絡橋開通は、今までの中国・四国地方の交通網を大きく変え、中国・四国地方の発展に大きく貢献する。また、中国・四国地方の交通網が豊かになり、中国・四国地方の発展に大きく貢献する。また、中国・四国地方の交通網が豊かになり、中国・四国地方の発展に大きく貢献する。

聞き手を意識して、スライドや動画等うまく使いながら発表できた

話し合いを通して、根拠を示しながら意見を積極的に交わすことができた

現状(生徒の実態)

「次は頑張る」というような抽象的な振り返りが多く、次に生かされない

適切な自己評価ができておらず、実態と合わないA評価やC評価がある



理想(めざす生徒の姿)

具体的な改善点を見つけ、学習を調整することができる

多様な視点から、適切な自己評価ができる



このギャップをどう埋める?

伸びた力を実感し、次の課題を見つける

問いを立てる
(10分)

調査
(40分)

共有と話し合い
→練り直し
(25分)

テスト+振り返り
(15分+10分)

リニア中央新幹線のテーマを提示し、問いを立てさせる

パフォーマンス課題を発表し、評価の説明をする

ファシリテーターとしての視点
教員は評価者、観察者に徹する。口頭でのフィードバックに備え、生徒の良いところや伸びしろをメモする

パフォーマンス課題
(生徒に提示したもの)

「リニア中央新幹線に関する課題を調査し、審議委員として建設を推進すべきか意見を述べる」

問いを立てるところからレポートテストまですべてが評価対象、これまで学んだことを総動員して臨むことレポートテストは通常のテストと同様に持ち込み不可

共有と話し合い→練り直し
(25分)



話し合いを通して考えを深め、自分の意見を練り直していた

調査
(40分)

共有と話し合い→練り直し
(25分)



伸びた力を実感し、次の課題を見つける

問いを立てる
(10分)

調査
(40分)

共有と話し合い
→練り直し
(25分)

テスト+振り返り
(15分+10分)

個別最適・協働的な学びの視点

原則は紙での記述式だが、タブレットでの記述提出も可能(わらいが達成されるのであれば、多様な方法を認めている)

I agree that the linear shinkansen should be built. The reason it should be built is because it would make traveling around Japan faster and easier. For example, it would only take about a hour, but if you used normal shinkansen it would take about 3 hours. There is about a 2 hour difference between the linear shinkansen and a normal shinkansen. But there are some problems about building the linear shinkansen. I disagree with it. For example, the linear shinkansen get built it they would have cut down over 200 year old trees which would be bad for the environment and it is said that the tunnel in the southern Alps is too narrow for the water supply.

英語なら書ける生徒もいる



